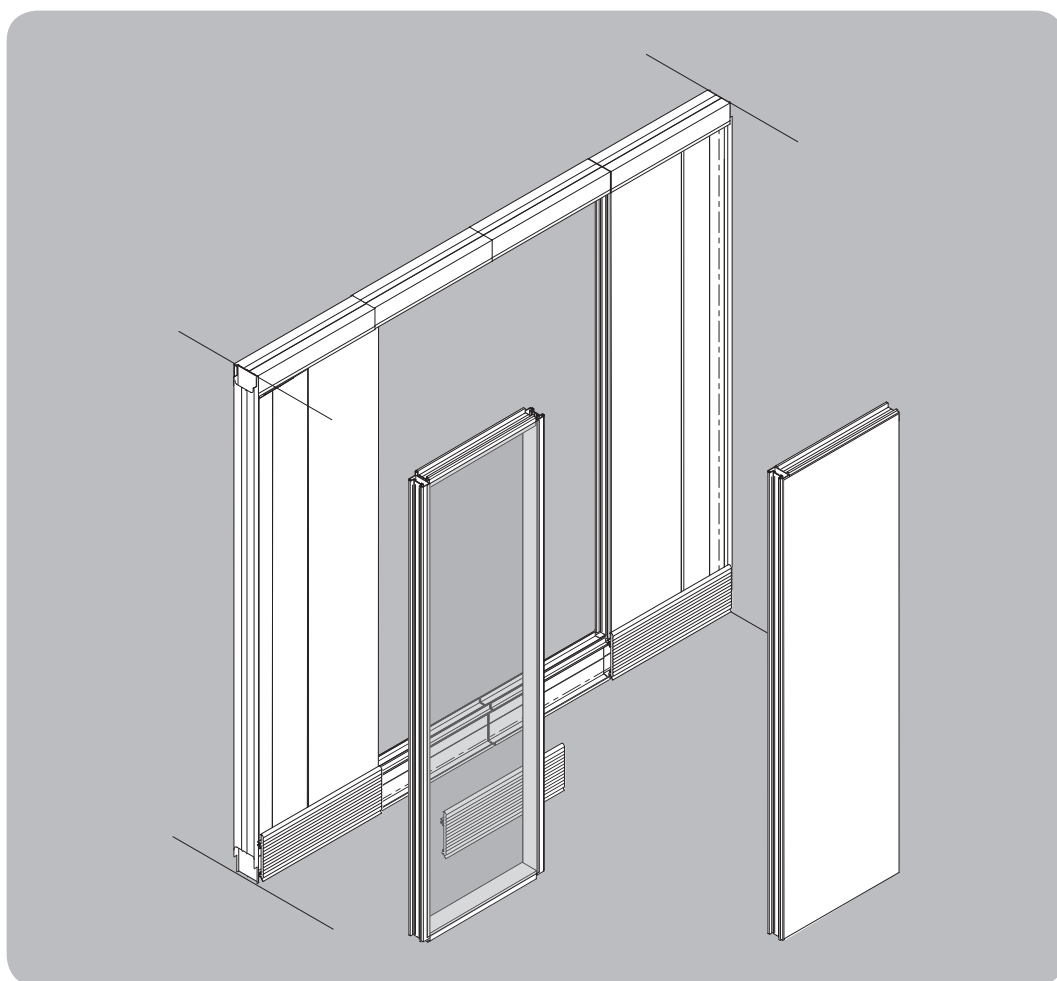


アルミインテリア建材 ビュライ 可変間仕切壁

スタイルシフトウォール

取扱い・取付け説明書



取付けにあたって

この説明書では、お客さまの安全と製品を正しく取付けていただくための、組立ておよび取付けについて、重要な内容を記載しております。

ご留意いただき、取付けてください。

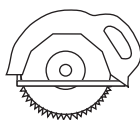
保証内容在中

この取付け説明書には保証に関する重要な内容が記載されています。取付け完了後は必ずお施主様にお渡しください。

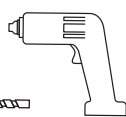
目次

<使用工具・用具>

☐ 電動丸のこ



☐ 電気ドリル



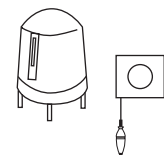
☐ ドリル刃

φ3.5 (鉄工用)

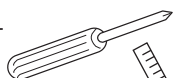
φ5.0 (鉄工用)



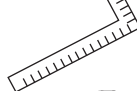
☐ レーザー墨出し器、
下げ振り



☐ プラスドライバー
#2



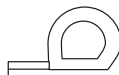
☐ 金尺



☐ マスキングテープ



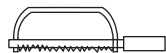
☐ コンベックス



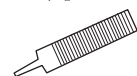
☐ プラスチックハンマー



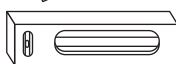
☐ 金ノコ



☐ ヤスリ



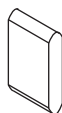
☐ 水準器



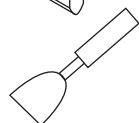
☐ 鉛筆



☐ 木片 厚さ4mm 程度
(角がとれているもの)



☐ ヘラ



☐ ウエス

☐ ニッパー

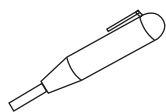
☐ ハサミ

☐ 脚立

<推奨工具>

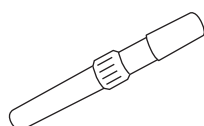
☐ プッシュマジック

※. 石膏くぎを打ち付ける際の推奨工具



☐ one-push (ワンプッシュ)

※. 天井下地材を確認する際の推奨工具



■ 取付けされる方へのお願い

1

■ 部材構成

2・3

■ 納まり図

4~8

■ 各部の名称

9

■ 設置条件及び確認

10・11

■ コンセント仕様の条件及び確認

12~14

1 位置出しとマーキング

15・16

2 壁当りAの取付け

17・18

3 上ランナーの取付け

19~21

4 下ランナーの取付け

22~25

5 壁当りB・Cの取付け

26・27

6 パネルの建込み

27・28

7 方立の取付け

29・30

8 目地カバーの取付け

31

9 幅木カバーの取付け

32

10 ダブル壁の取付けについて

33~36

11 取付け後の製品確認と養生

36

12 移設について

36

13 商品保証について

37

取付けされる方へのお願い

- この説明書は必ず取付けされる方にお渡しください。
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

- 思わぬケガや事故につながりますので下記事項をお守りください。

<取付け時>

- ・設置及び移設は当社指定の業者での取付けとなります。当社指定以外の業者で行わないでください。
- ・ねじ類の締結部品及び個所は必ず指定工具で全てゆるみなく止めてください。
- ・設置及び移設予定個所には天井下地補強材が必要になります。ねじは必ず天井下地補強材に止めてください。
- ・改造は行わないでください。また、指定部品以外は使用しないでください。
- ・天井補強下地材は、40mm角以上の木材を使用してください。
- ・コンセント仕様の場合、電気工事士の資格が必要になりますので、必ず電気工事店様にご依頼ください。

<取付け後>

- ・取付け完了後、ゆるみやガタツキ、及び使用上不具合や危険な個所がないかを確認してください。また、商品にキズやヘコミなどがないかを確認してください。
- ・分解や改造は絶対にしないでください。
- ・寄りかからないでください。

お願い

<設計及び取付け前>

- この商品は屋内専用の商品になります。屋外には使用できません。
- 確認申請時には、竣工時の間仕切りプランにて行ってください。移設後などのプランも考慮した建築計画をお願いします。(火災報知機など)
- コンロ周辺での設置には、消防法によりコンロからの距離などの規制がありますのでご注意ください。(詳細は各地域の火災予防条例によります)
- 不燃認定は取れていません。また、防火上有効な壁とはみなされません(家具と同じ扱いになります)のでアパートなどの界壁には使用できません。
- 省令準耐の対応について室内に面する部分に設置しても問題ありません。また可変間仕切壁を含まない通常の壁によって囲まれる室内空間を一室とみなすことができるため、可変間仕切壁に防火区画をする必要はありません。
- 浴室などの湿気の多い場所、水が直接かかる場所には使用しないでください。
- 壁や床の取付けが完了していることを確認してください。(後付タイプです)
- 設計図書にもとづいて可変間仕切壁の配置及び納まりを確認してください。
- 周辺の室内養生を十分注意して計画してください。
- 搬入経路を確保してください。
- 開梱時に構成部品の内容を確認してください。
- 商品に破損や異常が無いかを確認してください。
- 商品を投げたり、落としたりしないでください。破損や変形、キズの原因になります。
- 商品を踏みつけたり、重い物を上に置かないでください。破損や変形、キズの原因になります。

<取付け時>

- 商品や部品などの落下に十分注意してください。また、投げ渡したり踏んだりしないでください。
- 上ランナー取付けねじは $2 \sim 2.5 \text{ Nm}$ ($20 \sim 25 \text{ Kgf/cm}$)のトルクで締付けてください。

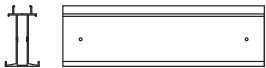
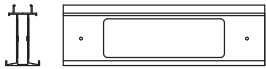
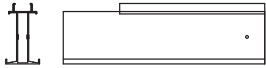
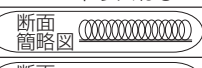
<移設時>

- 幅木カバー、目地カバーなどは消耗品扱いとし、移設時には交換が必要になります。また、寸法の異なる移設では部材の追加、破棄が必要となります。
- 撤去後、壁・天井にはピン跡及びねじ穴が発生します。クロス用のタッチアップによる補修を原則としますが、多少の補修跡が残るため、予めお客様に了解を得てください。
- 数年後に移設される際、周囲の床、壁、天井クロスなどが日焼けをして設置した場所との色の違いが生じる場合があります。その旨をお客様にはご理解を頂いた上でのご使用をお願いします。
- 数年後に移設される際、使用状況により壁、天井クロスがバッキン材と化学反応を起こし、設置していたクロスの表面に色の変化が生じる場合があります。その旨をお客様にはご理解頂いた上でご使用をお願いします。

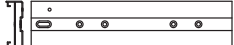
<取付け後>

- 引き渡し前に商品にゴミや異物の付着などが無いことを確認し、清掃を行ってください。
- パネルに画鋲またはねじを打たないでください。
- ボールなどをぶつけないでください。
- 暖房器具から発生する熱風・熱気が直接当たらないようにしてください。反り、変色などの原因、及び表面材が銅板のため高温になる場合があります。
- 本体に水、油、殺虫剤などが付着しないようにしてください。材料の特性により表面がふくれたり、しみ、変色などが発生するおそれがあります。

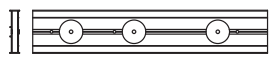
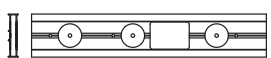
部材構成

■上下ランナーセット			シングル壁用				ダブル壁用			
	姿図		標準	コンセント有 (片面)	コンセント有 (両面)	コンセント有 (壁当り側)	標準	コンセント有 (片面)	コンセント有 (両面)	コンセント有 (壁当り側)
部材		上ランナー	1	1	1	1	2	2	2	2
		下ランナー	1				2			
		下ランナー (コンセント用)		1	1			2	2	
		下ランナー (コンセント 壁際用)				1				2
		幅木カバー	2	1		2	5	4	2	5
		幅木カバー (コンセント用)		1	2			1	3	
ランナー 部品 セット SE-1828	 $\phi 3.8 \times 32$ 平皿木ねじ	上ランナー取付けねじ	○	○	○	○	○	○	○	○
		隙間隠し材 (※)	○	○	○	○	○	○	○	○
		ジョイントプレート(※)	○	○	○	○	○	○	○	○
	 $\phi 4.0 \times 8$ トラスねじ	ジョイントプレート(※) 取付けねじ	○	○	○	○	○	○	○	○
		メカニカルファスナー (ループ)	○	○	○	○	○	○	○	○
		メカニカルファスナー (フック)	○	○	○	○	○	○	○	○
		コンセント取付け裏板		○	○			○	○	
	 $\phi 4.0 \times 10$ トラスねじ	コンセント取付け裏板 取付けねじ		○	○			○	○	

(※) 印の部品は余る場合があります。

■方立セット			
	姿図	名称	数量
部材		方立	1
方立取付け 部品セット SE-1829		方立固定ブラケット (※)	1
	 $\phi 3.8 \times 32$ 平皿木ねじ	方立固定ブラケット取付けねじ (上) (※)	1
	 $\phi 4.0 \times 8$ 平皿ねじ	方立固定ブラケット取付けねじ (横) (※)	1
		ねじキャップ	6
	 $\phi 4.0 \times 14$ なべねじ	方立取付けねじ	6
方立上端 カバー セット SK-1683		方立上端カバー	1
	 $\phi 4.0 \times 8$ 平皿ねじ	方立上端カバー取付けねじ	1
	本書	取付け説明書	1

■壁当りセット

	姿図		標準	コンセント有
部材		壁当り A	1	
		壁当り A (コンセント用)		1
		壁当り B	1	
		壁当り B (コンセント用)		1
		壁当り C	1	1
石膏釘 セット SE-1812		取付けピース	10	10
		石膏くぎ	30	30
		タイト材	1	1
壁当り取付け ねじセット SB-3879		縦枠アタッチ 取付けねじ	10	10
		吸音材	1	1
	本書	取付け説明書	1	1

(※) 印の部品は余る場合があります。

■一般パネル

姿図	名称	数量
	一般パネル (グレード1、グレード2)	1

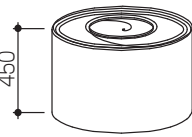
■シースルーパネル

姿図	名称	数量
	シースルーパネル	1

■目地カバーセット

姿図	名称	数量
 (L=2405)	目地カバー (※)	4

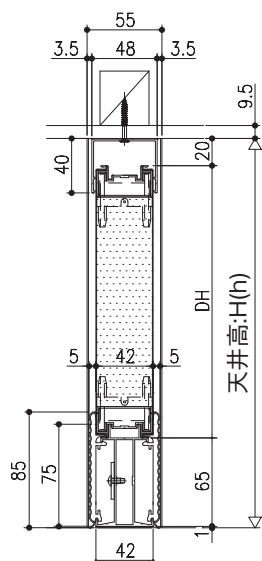
■ダブル壁用吸音材セット

姿図	名称	数量
 (L=14500)	吸音材 (※)	1

納まり図

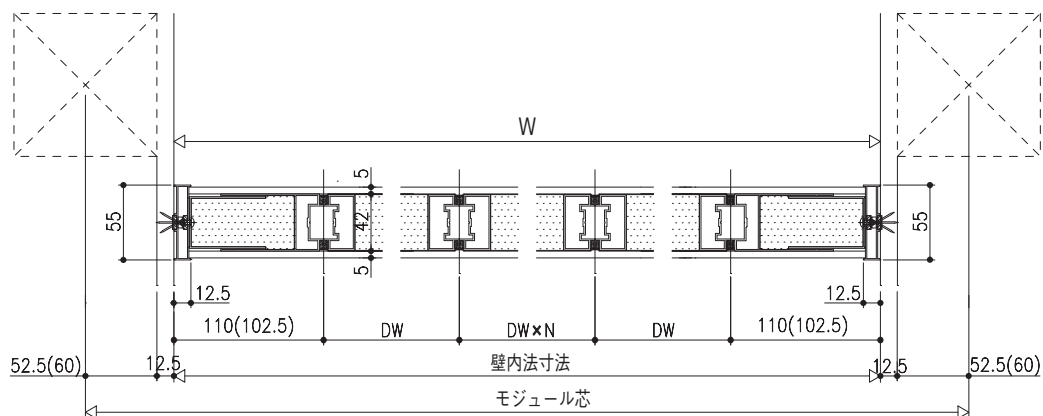
■壁-壁 <一般パネル> 基本納まり図

●縦断面図



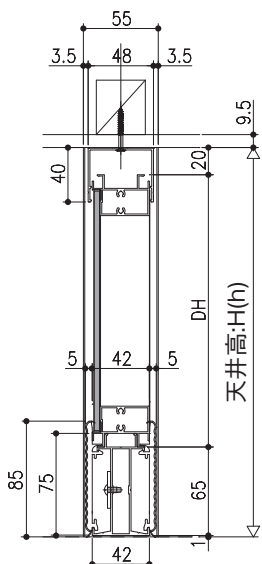
●横断面図

() 内寸法は、柱：120 角の寸法



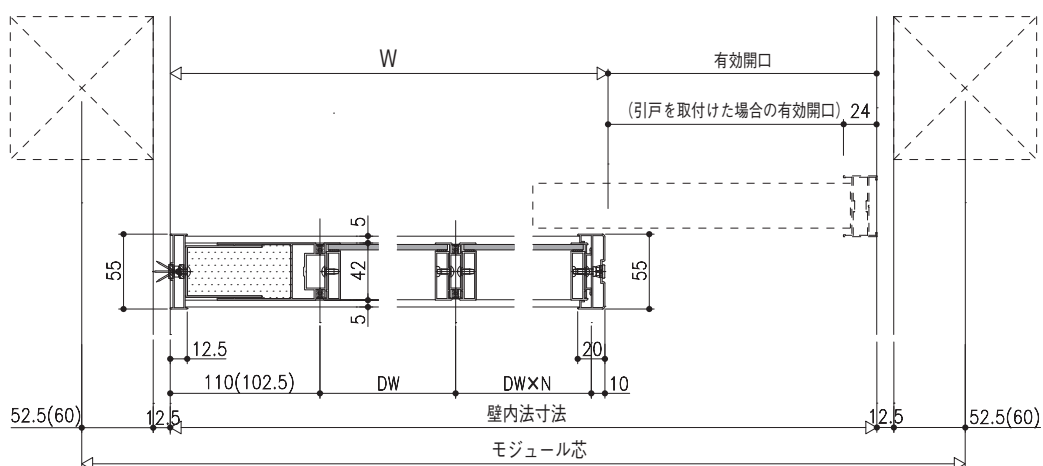
■袖壁 <シースルーパネル> 基本納まり図

●縦断面図



●横断面図

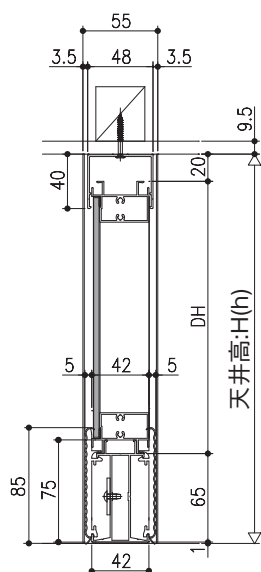
() 内寸法は、柱：120 角の寸法



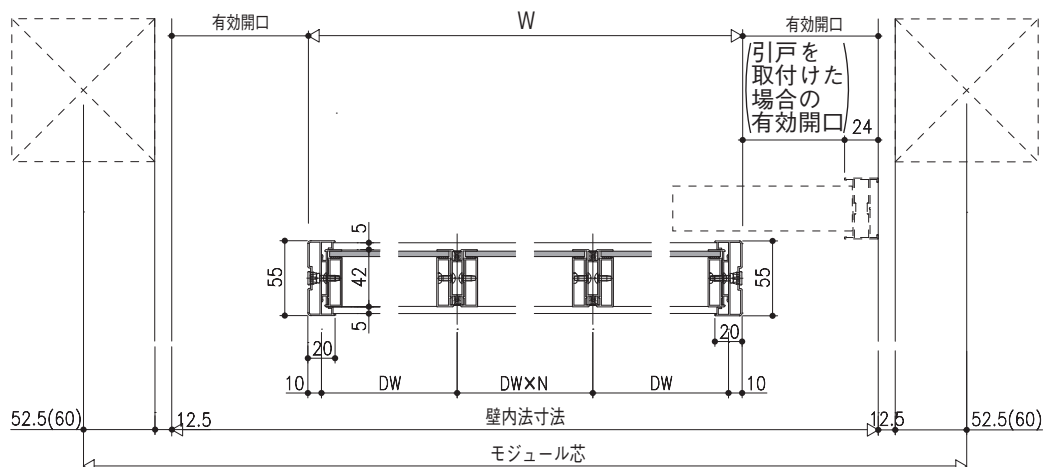
※シースルー引戸を取付ける場合は、引戸の縦枠が付くため有効開口が24mm小さくなります。

■独立壁 <シースルーパネル> 基本納まり図

●縦断面図



●横断面図

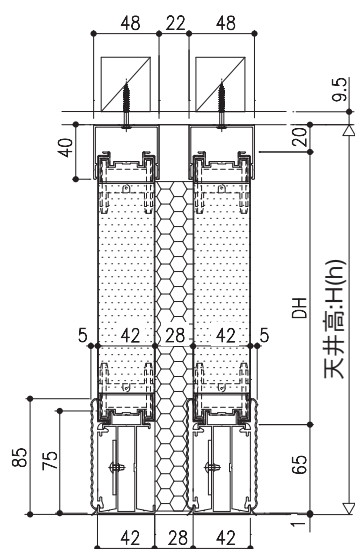


() 内寸法は、柱：120 角の寸法

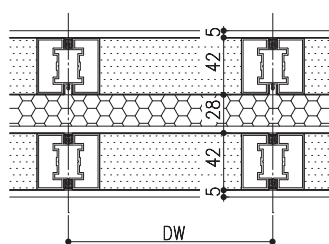
※シースルー引戸を取付ける場合は、引戸の縦枠が付くため有効開口が24mm小さくなります。

■ダブル壁 基本納まり図

●縦断面図



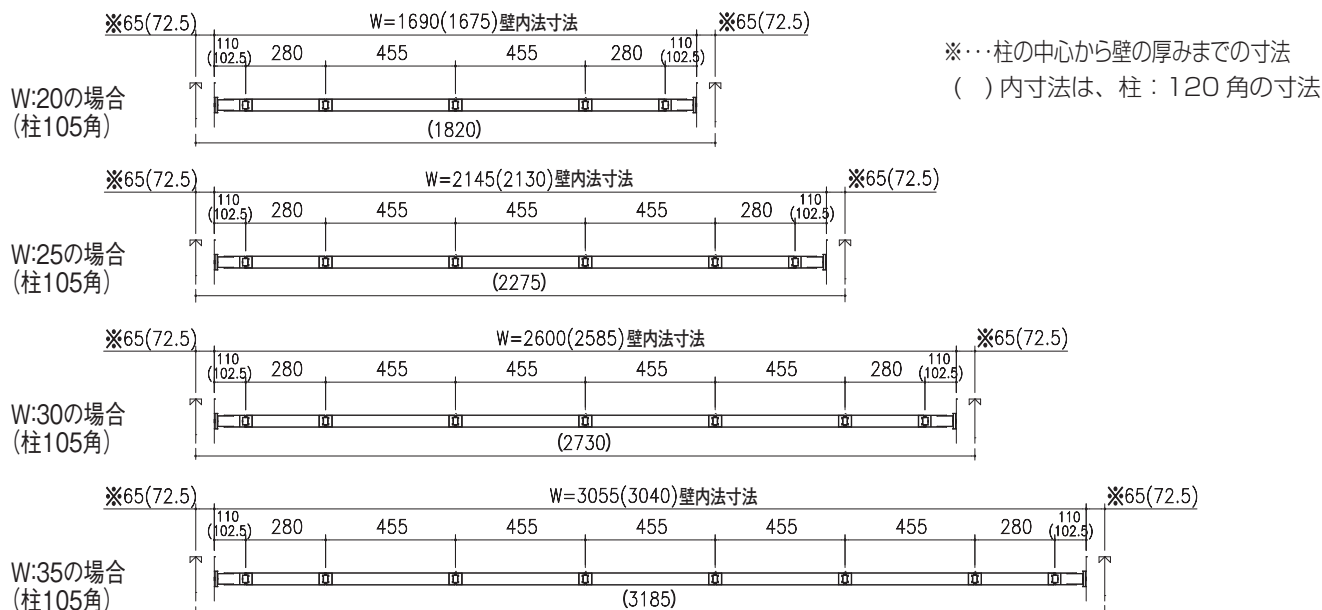
●横断面図



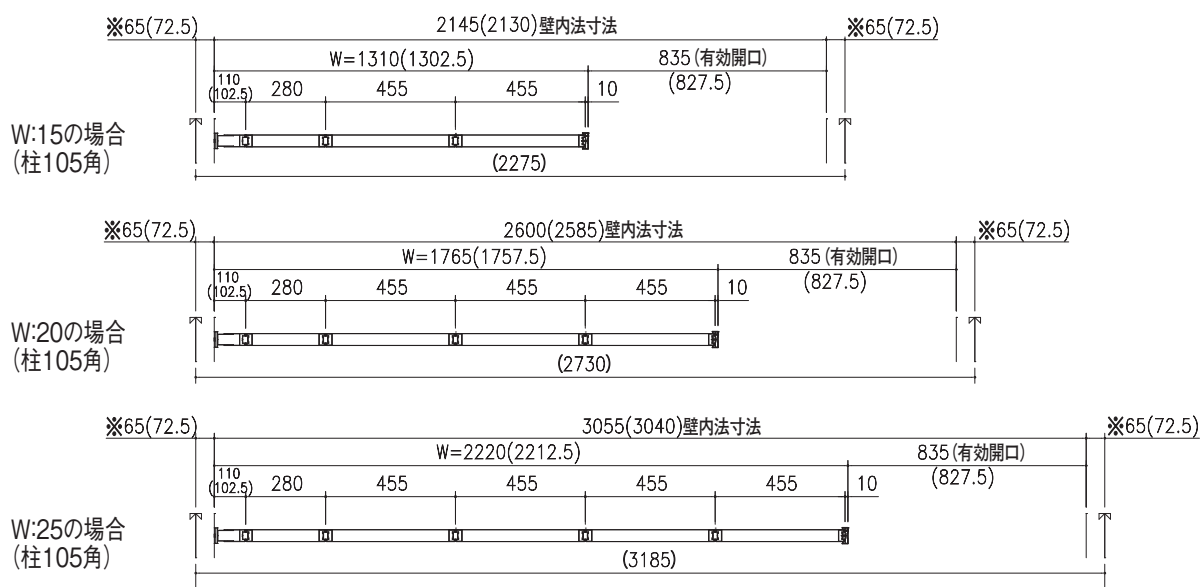
※ダブル壁の場合、「袖壁」「独立壁」納まりはありません。「壁一壁」納まりのみの設定になります。

●パネル割付例(尺モジュール)

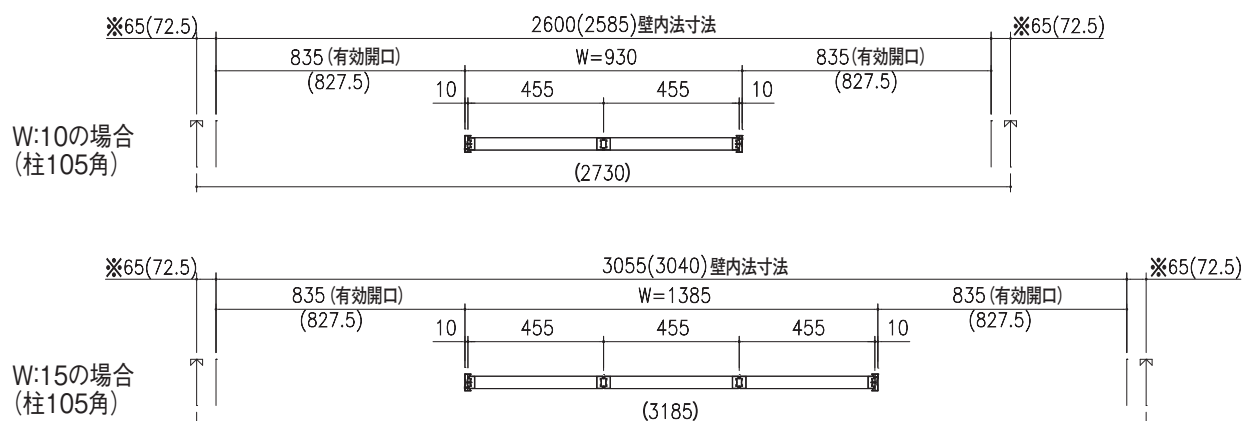
■壁-壁 (柱105角)



■袖壁 (柱105角)

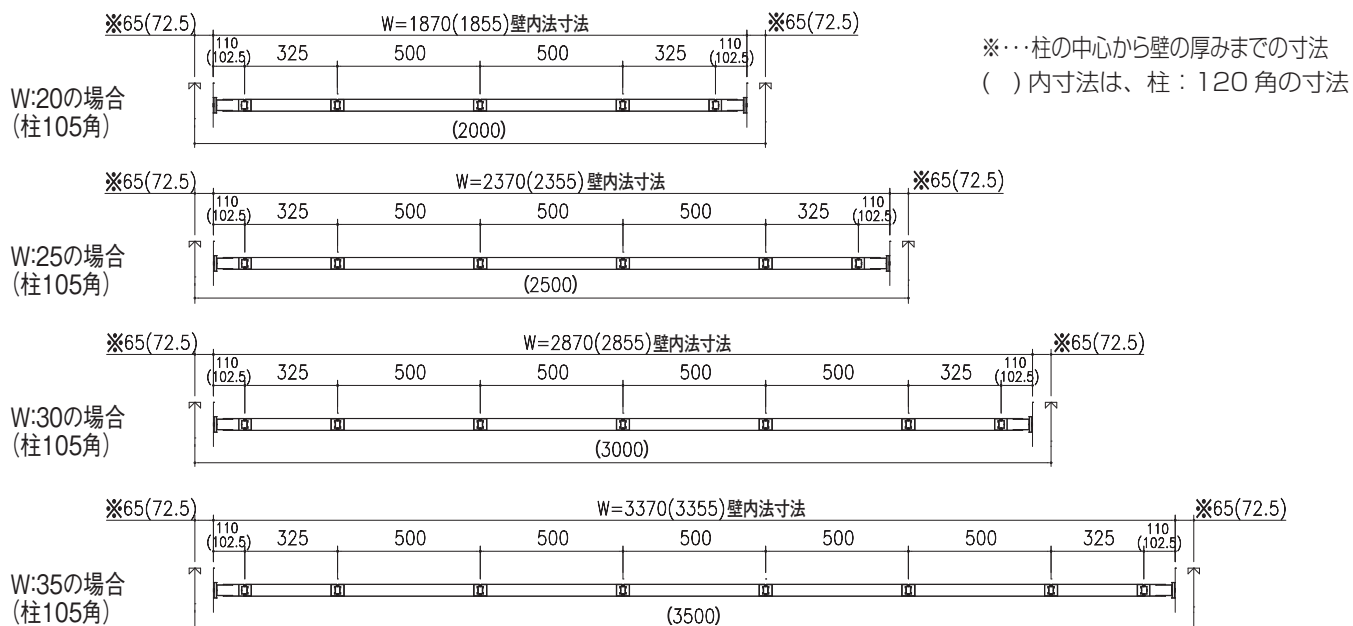


■独立壁 (柱105角)

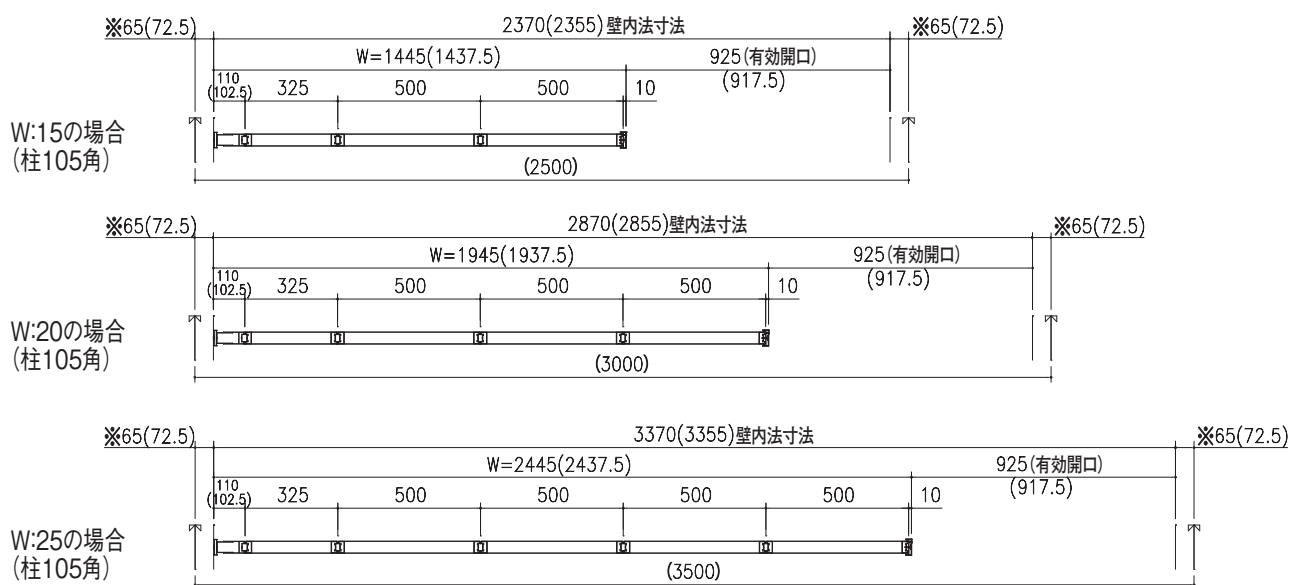


●パネル割付例(メーターモジュール)

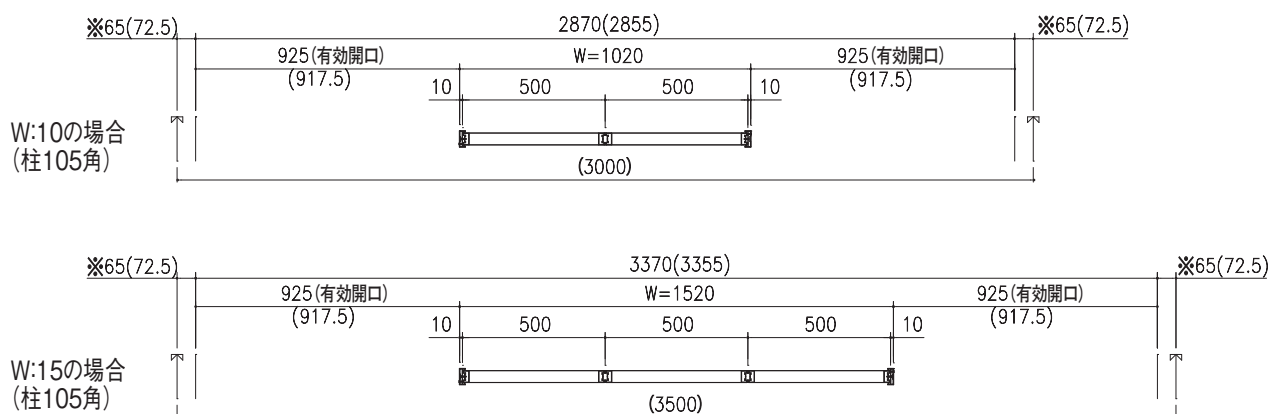
■壁-壁 (柱105角)



■袖壁 (柱105角)

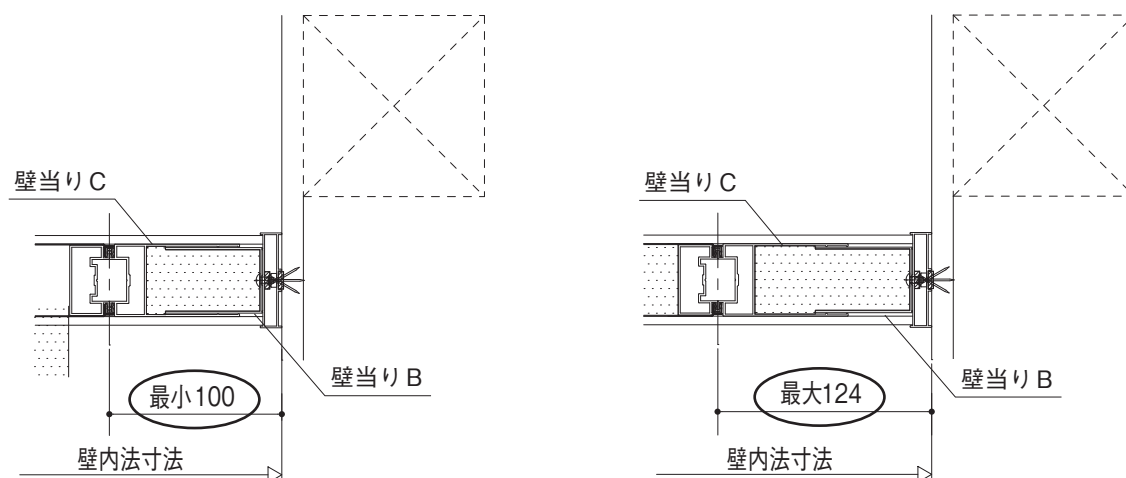


■独立壁 (柱105角)

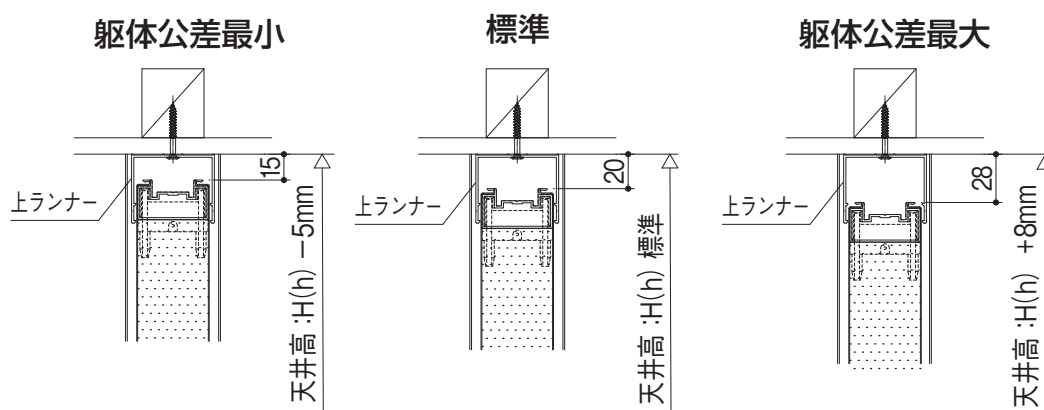


● 躯体と調整について

W方向 W方向は壁当り部の幅を、100mm～124mmの範囲で調整可能です。

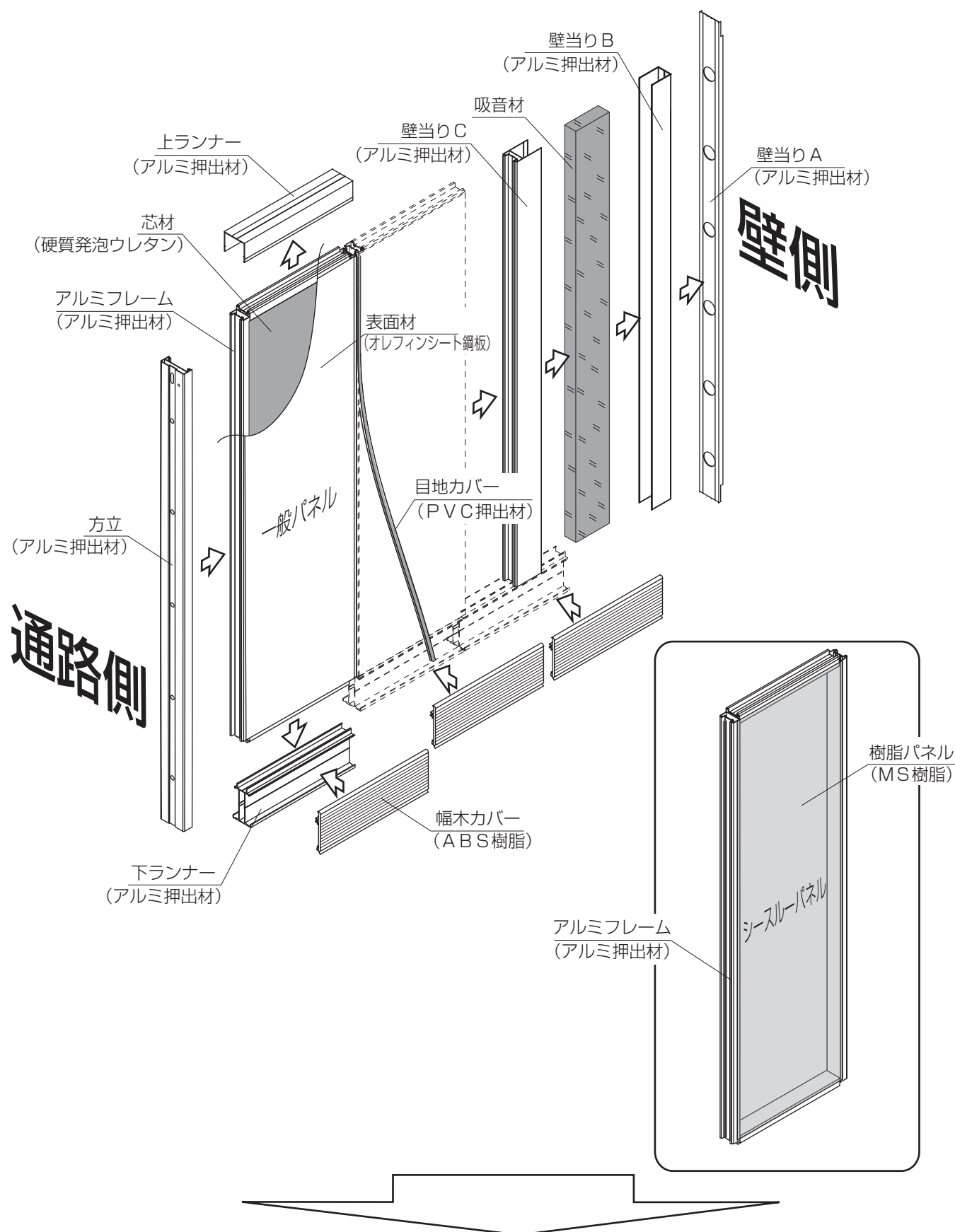


H方向 H方向は、上ランナーのみ込み部で、躯体公差+ 8mm，－5mmまで対応可能です。



各部の名称

■各部の構成と名称は下図のようになります。



パネルを樹脂製の目地カバーで連結することで壁を構成していくシステムです。
パネルをシースルーパネルにすることで、様々なバリエーションの展開が可能となります。

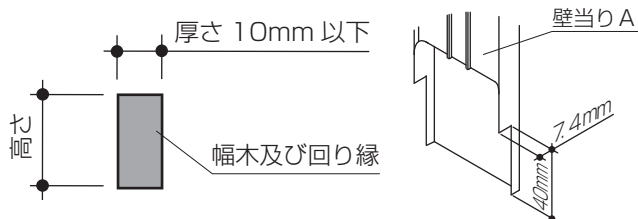
設置条件及び確認

1 床材、壁材、天井材の条件の確認

- ①. 床材がフローリングであることを確認してください。フローリング以外の、カーペット、コルクタイル、畳などの床材には対応していません。
- ②. 床材のワックスがシリコン系の場合、メカニカルファスナーの接着が十分に得られない場合があります。そのため、ワックスがシリコン系のものには対応していません。また、フローリングの表面塗料がセラミックの場合も対応していません。
- ③. 床暖房のある居室には取付けることはできません。
- ④. 壁材が石膏ボードでクロス張りであることを確認してください。その他の壁材には対応していません。
- ⑤. 天井材が石膏ボードまたは合板などのねじ止めできる材料であることを確認してください。

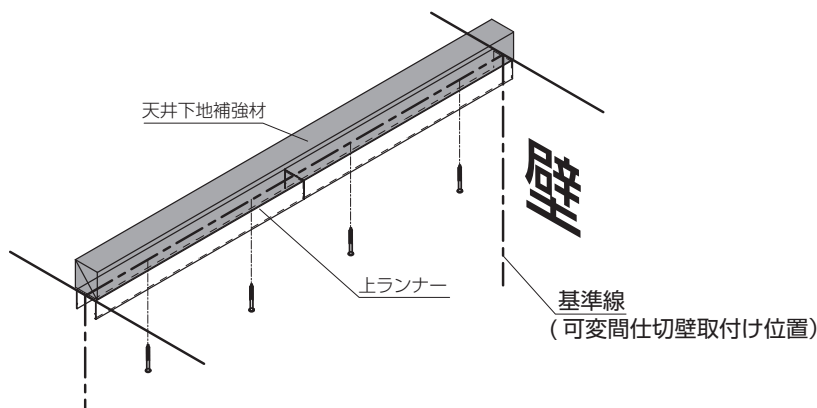
2 幅木、廻り縁の寸法の確認

- ①. 壁当り A は高さ40mm×厚さ7.4mmの幅木を想定した加工となっています。幅木がこのサイズを超える場合は、現場に合わせて加工を行ってください。
- ②. 壁当り A には回り縁用の加工がありません。回り縁が付いている場合は現場に合わせて加工を行ってください。
- ③. 幅木及び回り縁の厚さが10mm以下であることを確認してください。壁当り A の形材形状により、厚さが10mmを超えるものには対応していません。



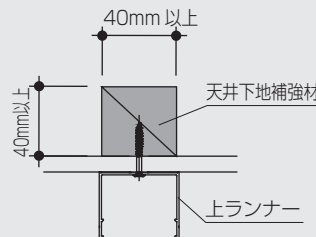
3 天井下地補強材の確認

- ①. 設置場所には天井下地補強材が必要になります。天井下地補強材が通っていることを確認してください。



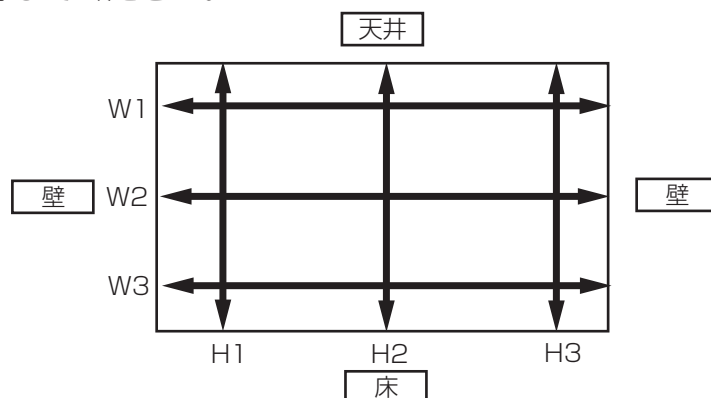
▲ 注意

- 設置及び移設予定個所には天井下地補強材が必要になります。ねじは必ず、天井下地補強材に止めてください。
- 天井下地補強材は40mm角以上の木材を使用してください。



4 設置場所の寸法測定

- ①. 設置場所のH1～H3、W1～W3の個所を測定し、精度がH：+ 8、－ 5、W：± 5であることを確認してください。



5 建築床の精度の確認

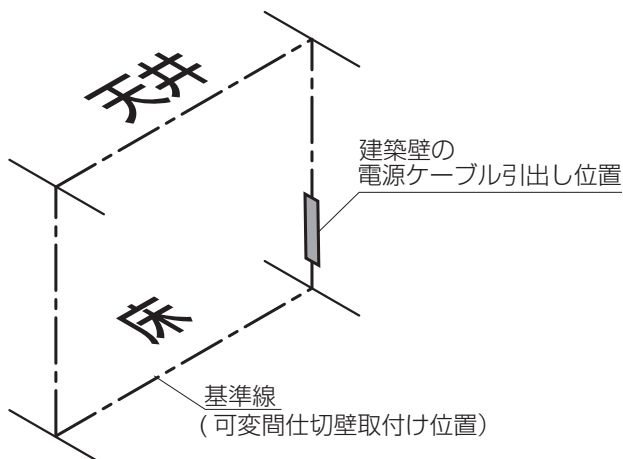
- ①. 建築床に凸凹や不陸のないことを確認してください。凸凹や不陸がある場合は取付けることができません。

6 建築壁の精度の確認

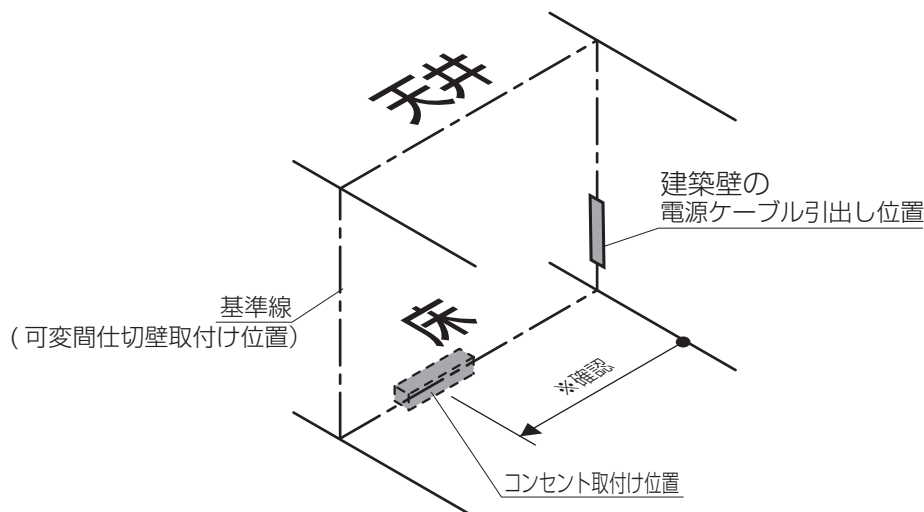
- ①. 建築壁に凸凹や不陸のないことを確認してください。凸凹や不陸がある場合は取付けることができません。

コンセント仕様の条件及び確認

- 1 コンセント仕様の場合、建築壁の電源ケーブル引出し位置に可変間仕切壁を取付けることになります。建築壁のコンセント位置を確認してください。



- 2 建築壁(電源ケーブル引出し側)より、コンセントを取付ける位置を確認してください。
※. コンセントは壁際(メーターモジュール:壁芯~500mm、尺モジュール:壁芯~455mm)には設置できません。

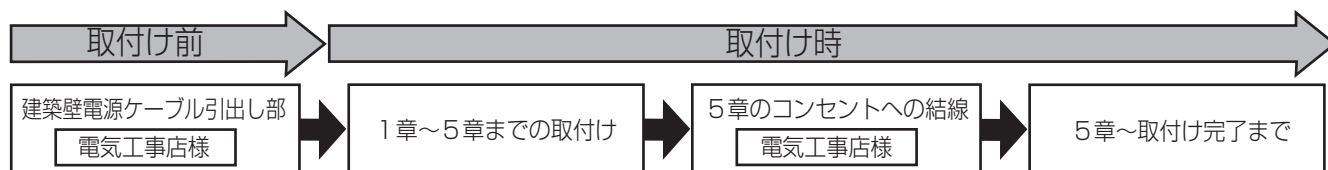


- 3 コンセント仕様の場合、電気工事店様にご依頼していただく作業が、取付け前と取付け途中に発生します。

▲ 注意

- コンセント仕様の場合、電気工事士の資格が必要になりますので、必ず電気工事店様にご依頼ください。

[取付け完了までの作業フロー]



電気工事店様に依頼していただく作業及び準備物はP13に記載します。

- 4 コンセント仕様の場合、建築壁の電源ケーブル引出し部は取付け前の準備が必要になります。
事前に電気工事店様に依頼をして、下記の作業を完了させておいてください。

▲ 注 意

- コンセント仕様の場合、電気工事士の資格が必要になりますので、必ず電気工事店様にご依頼ください。

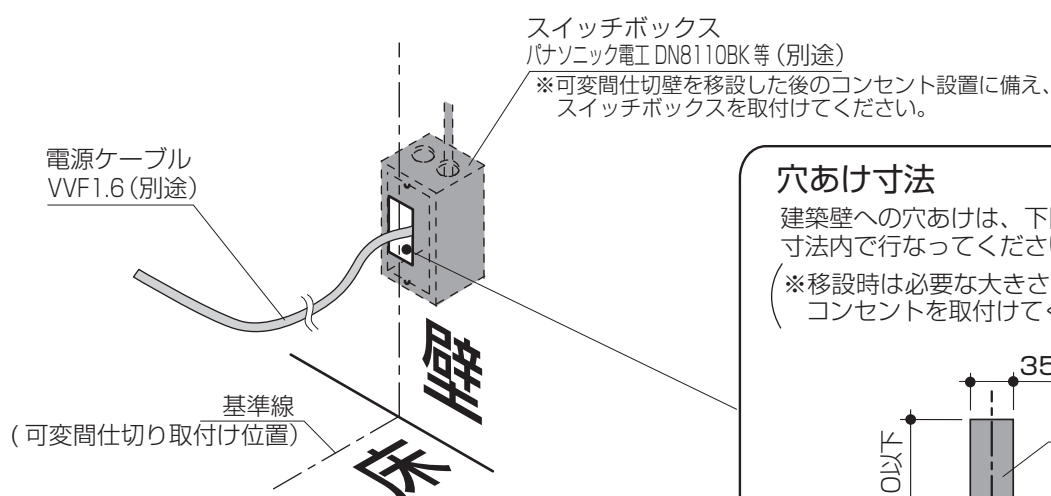
取付け前 - 電気工事店様依頼

建築壁電源ケーブル引出し部

建築壁の電源ケーブル引出し部にスイッチボックスを取付け、建築壁から電源ケーブルをコンセント位置までの必要長さ分を引き出してください。

このとき建築壁の穴あけ寸法の最大が決められていますので注意してください。

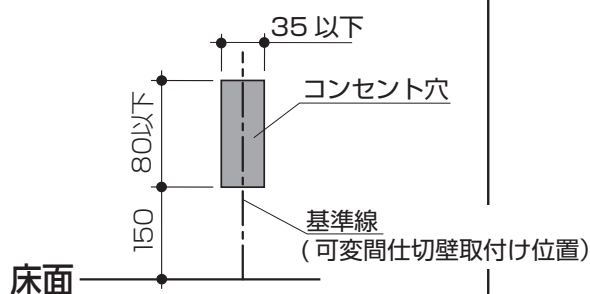
※穴あけ寸法は、スイッチボックスに対して小さくなる場合があります。



穴あけ寸法

建築壁への穴あけは、下図の位置及び寸法内で行なってください。

(※移設時は必要な大きさに穴を広げてコンセントを取付けてください。)



電源ケーブルの必要長さ

電源ケーブルの必要長さはコンセントを取付ける位置によって異なります。下記の公式に基づいて算出した電源ケーブルの必要長さを引き出してください。

電源ケーブルの 必要長さ	=	建築壁から 取付け位置 までの距離	+	350mm程度 (高さ等)
-----------------	---	-------------------------	---	------------------

- 5 コンセント仕様の場合、5章で下記の電気工事士の資格が必要な作業が発生します。
電気工事店様に依頼をして、作業を進めてください。

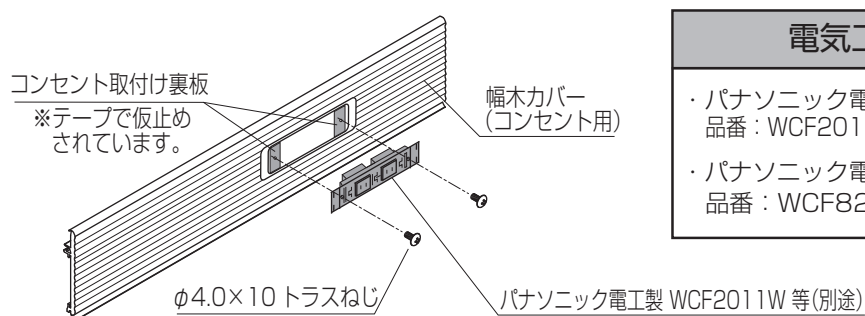
▲ 注 意

- コンセント仕様の場合、電気工事士の資格が必要になりますので、必ず電気工事店様にご依頼ください。

取付け時 - 電気工事店様作業

コンセントへの結線

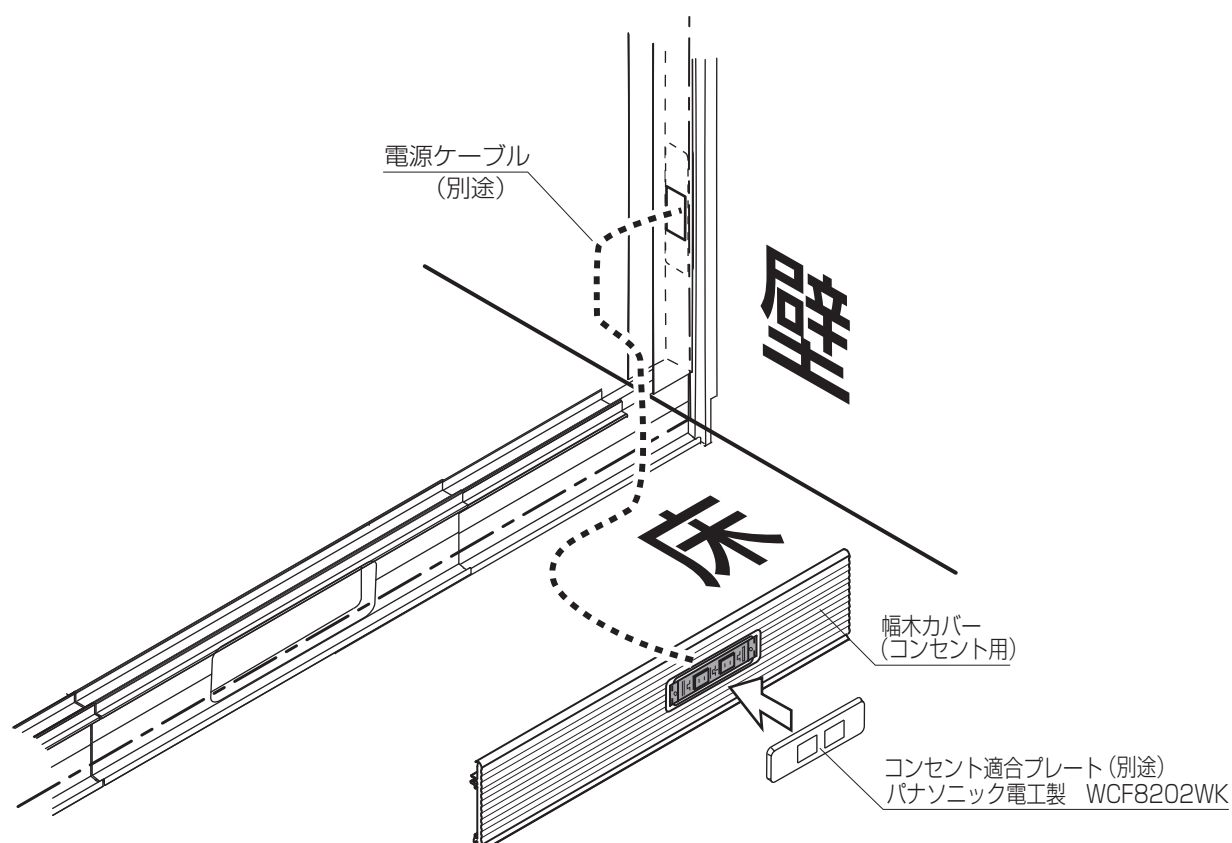
- ①. 幅木カバー（コンセント用）の裏板に、取付け枠指定のコンセント（別途）をねじで取付けてください。
取付けが完了したら、裏板を仮止めしているテープをはがしてください。



電気工事店様準備物

- ・ パナソニック電工（株）製 器機用 FC 組合せ器具
品番：WCF2011W 等（取付け枠：WCN3702 のもの）
- ・ パナソニック電工（株）製 コンセント適合プレート
品番：WCF8202WK

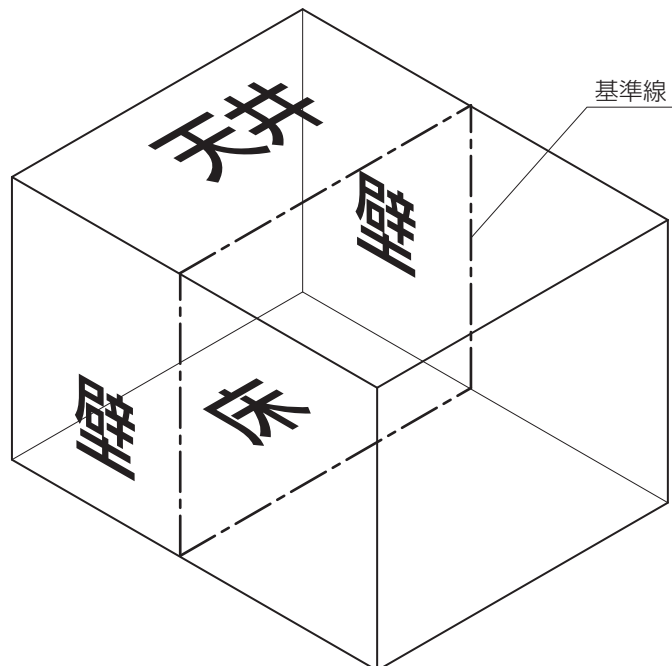
- ②. 建築壁から出ている電源ケーブルを、幅木カバー（コンセント用）のコンセント（パナソニック電工製 WCF2011W など）と結線してください。
③. 幅木カバー（コンセント用）のコンセント（パナソニック電工製 WCF2011W など）に、コンセント適合プレート（パナソニック電工製 WCF8202WK）を取付けてください。



1 位置出しとマーキング

❶ レーザー墨出し器を使用して、見込み方向のセンターとなる基準線の位置出しを、床、壁、天井に行ってください。

※. 基準線の位置に天井下地補強材があるかを確認してください。



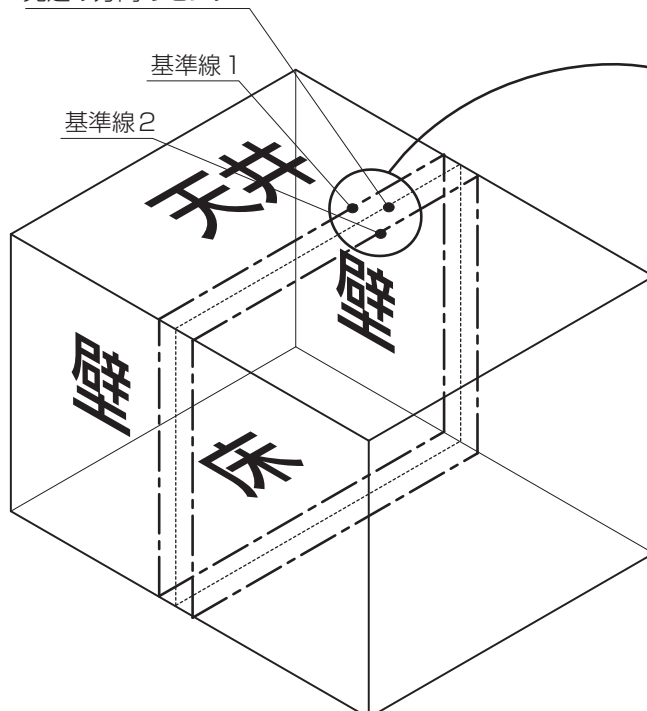
<使用工具>

- ・レーザー墨出し器
- ・下げ振り
- ・金尺
- ・one-push (ワンブッシュ)
- ・コンベックス

ダブル壁納まりの場合

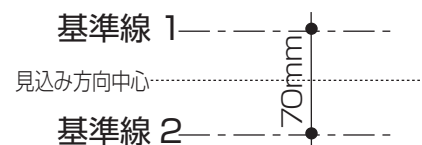
- ① ダブル壁納まりの場合は、可変間仕切壁を二重に取付けます。まず、2枚の可変間仕切壁の見込み方向のセンターとなる線の位置出しを行ってください。
- ② 見込み方向のセンターを中心に、70mm 幅で基準線 1 と基準線 2 の位置出しを床、壁、天井に行ってください。

見込み方向のセンター



基準線詳細

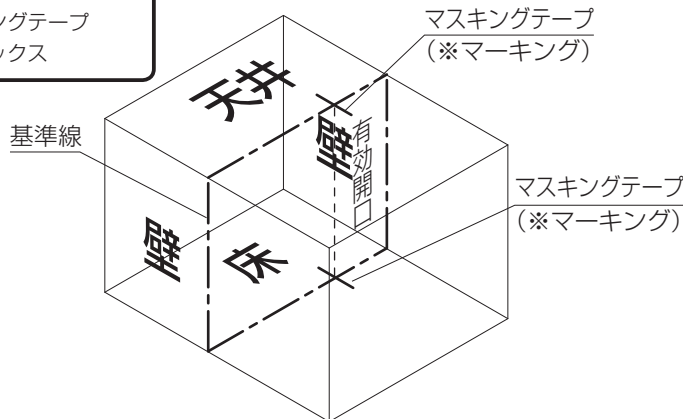
見込み方向のセンターを中心に、70mm 幅で基準線 2 本の位置を出してください。



2 袖壁及び独立壁の納まりの場合は、建築壁より有効開口を測定し、床、天井にマス킹テープでマーキングをしてください。

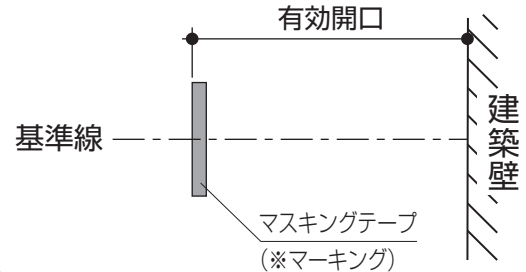
<使用工具>

- ・マス킹テープ
- ・コンベックス



マーキング詳細

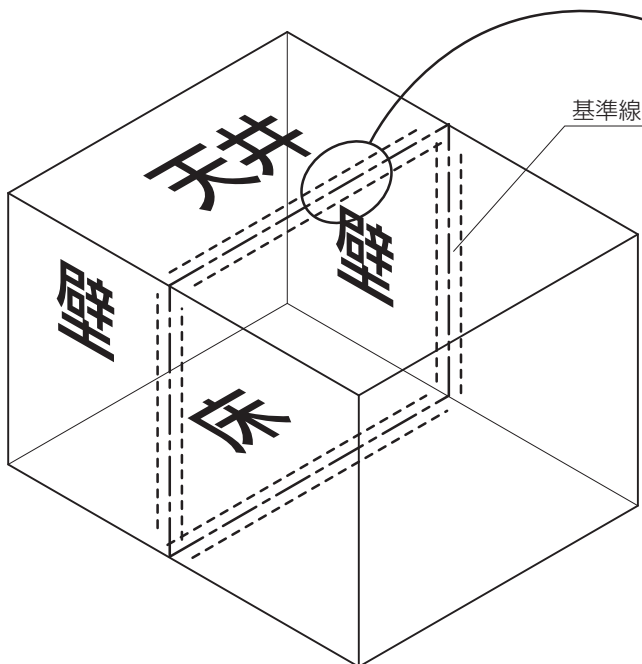
テープの縁が有効開口となるようにマス킹テープを張ってください。



3 基準線をセンターに床、壁、天井にそれぞれ、下ランナー、壁当りA、上ランナーを取付けるのに必要な幅をマーキングしてください。マーキングの幅は左下の表1を参照してください。

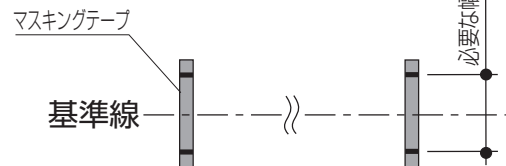
※ 袖壁及び独立壁の場合、有効開口となる可変間仕切壁を取付けない個所へのマーキングの必要はありません。

※ ダブル壁納まりの場合も同様に、2本の基準線に対してそれぞれ、下ランナー、壁当りA、上ランナーの幅をマーキングしてください。

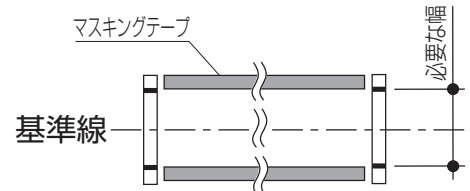


マーキング方法 (例)

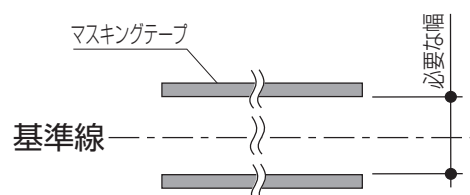
- ① 基準線に対して垂直にマス킹テープを張り、各必要な幅を、基準線をセンターにマス킹テープの上にマーキングしてください。



- ② マーキングに合わせて基準線に平行にマス킹テープを張ってください。



- ③ ①でマーキングをしたマス킹テープをはがしてください。これで残ったマス킹テープが必要な幅を示すマーキングとなります。



※ダブル壁納まりの場合、使用するマス킹テープの幅によっては間仕切壁の内側はテープが重なってしまい、外側にしかマーキングができない場合があります。

表 1

	必要な幅 (マーキング幅)
天井	48mm
壁	55mm
床	42mm

<使用工具>

- ・レーザー墨出し器
- ・下げ振り
- ・金尺
- ・マス킹テープ
- ・コンベックス
- ・鉛筆

2 壁当りAの取付け

- 1 設置個所の天井高を測定し、壁当りAのL寸が天井高に合うように、壁当りAの上端部を切詰めてください。(※1)

お願い

※切詰める際は、長すぎると天井及び床材をキズつけるおそれがあり、短すぎると天井及び床材とすき間があくおそれがあります。適正な寸法になるように切詰めてください。

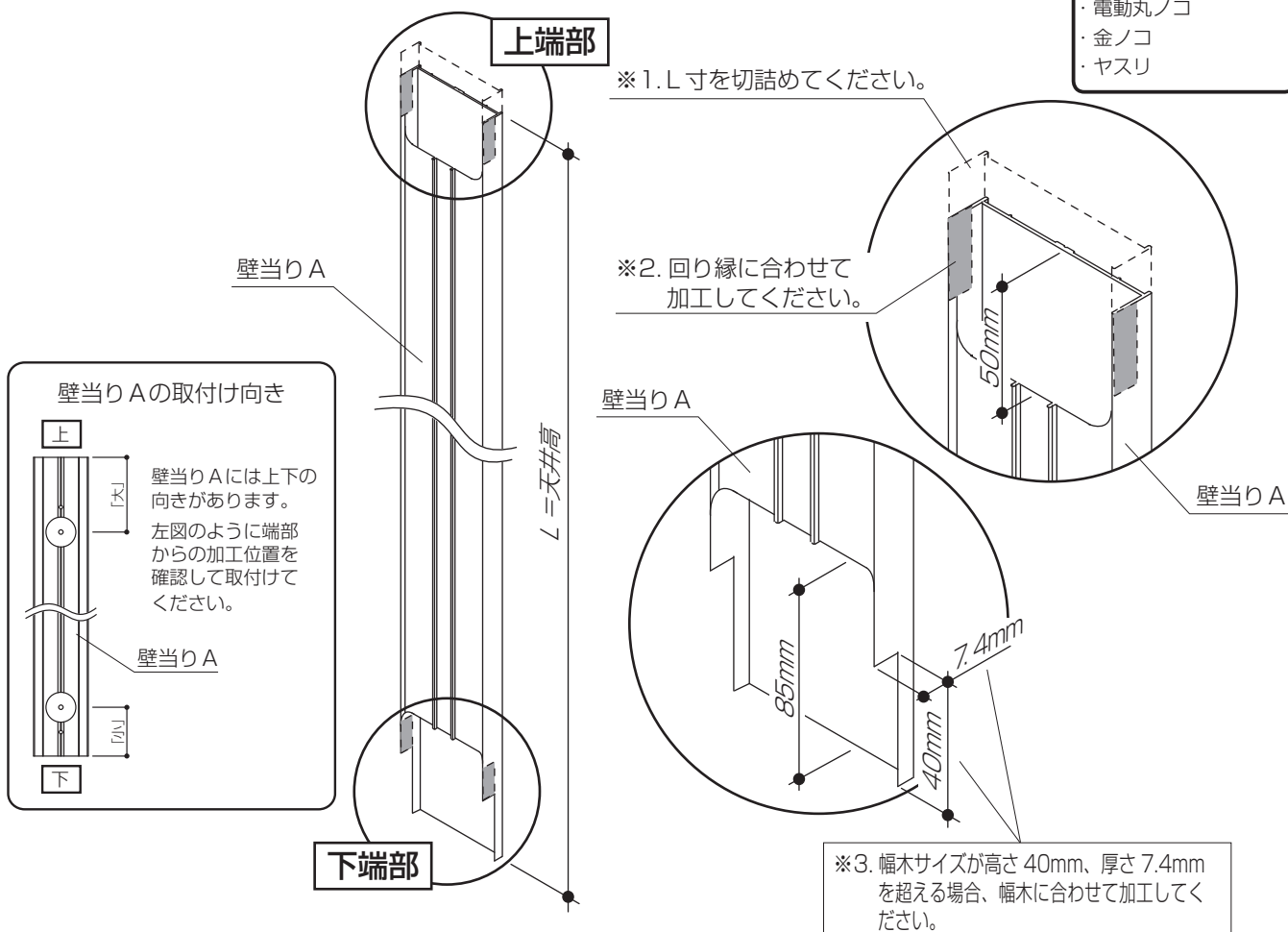
- 2 回り縁がある場合は、壁当りAの上端部を回り縁に合わせて加工してください。(※2)

- 3 壁当りA(切り欠き有)の場合、下端部には高さ40mm×厚さ7.4mmの幅木用の逃げ加工がされています。幅木がこのサイズを超える場合は、幅木に合わせて加工してください(※3)

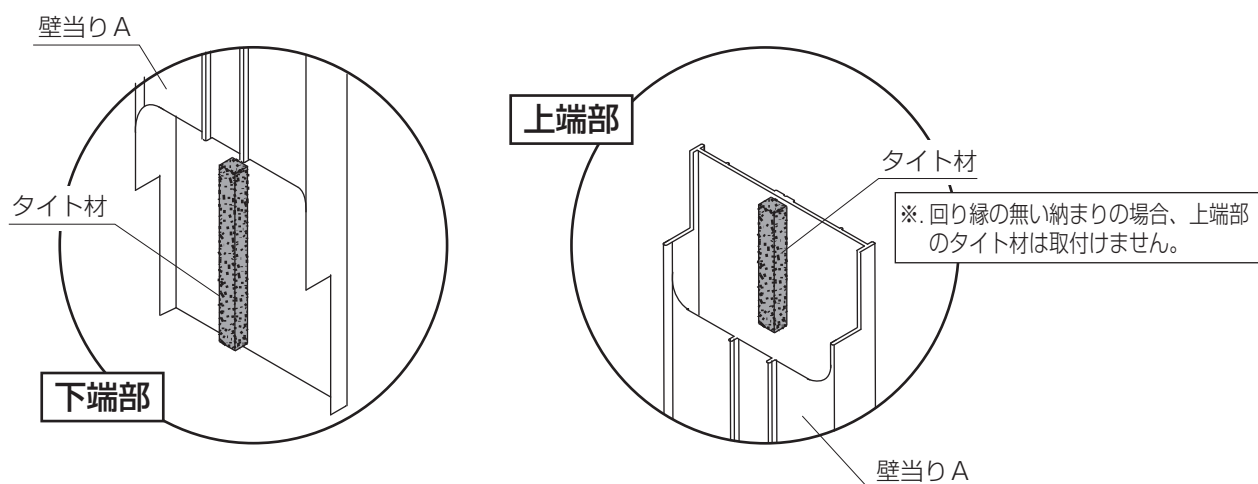
※. 幅木及び回り縁の厚さは最大で10mmまでになります。

<使用工具>

- ・電動丸ノコ
- ・金ノコ
- ・ヤスリ

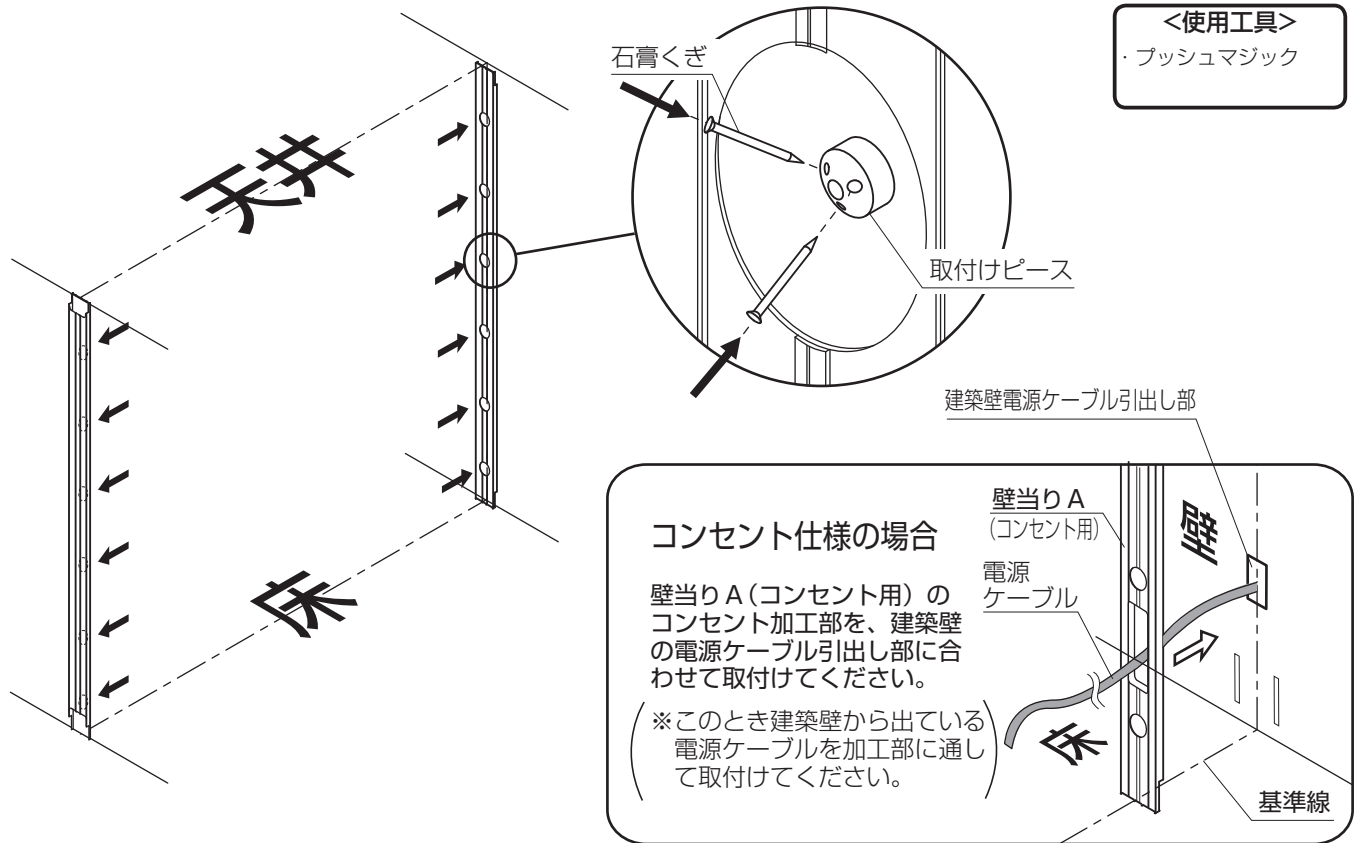


- 4 壁当りAの上下端の幅木及び回り縁の加工個所に、タイト材を張付けてください。



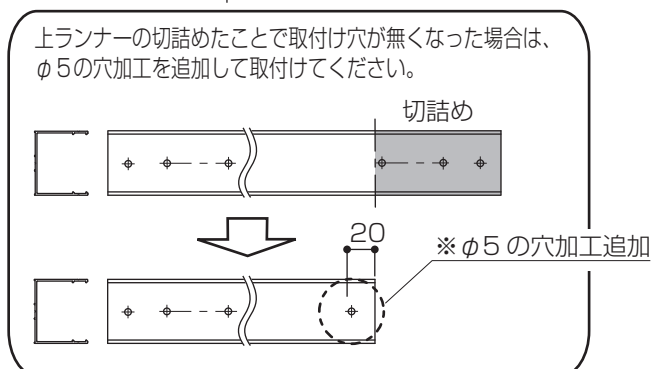
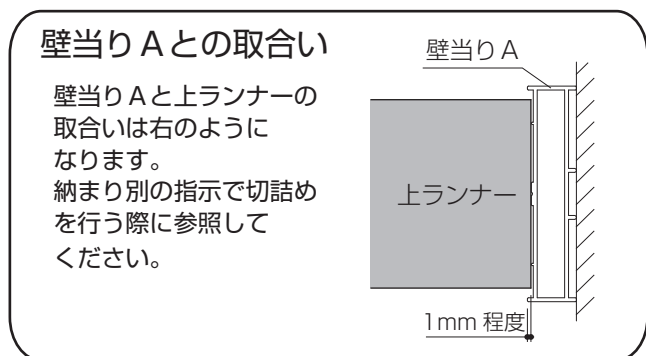
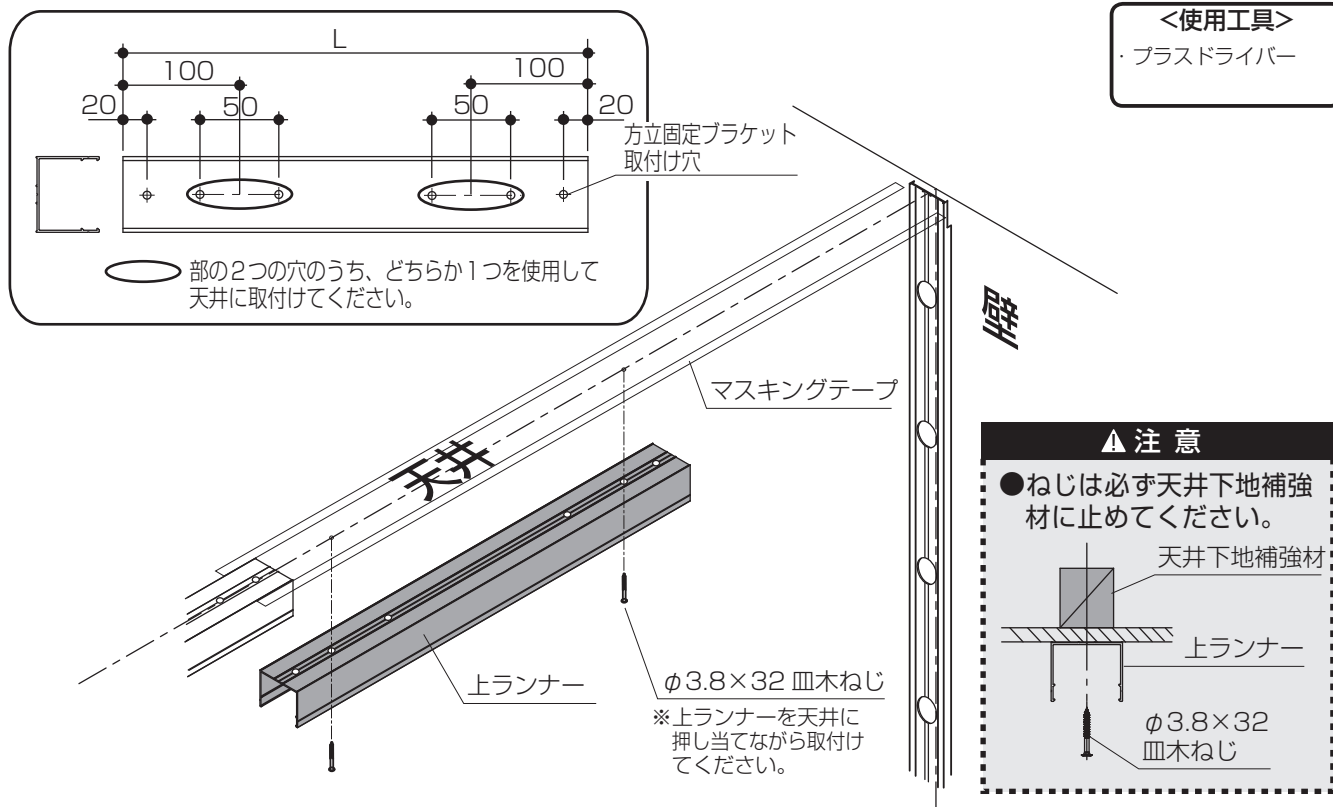
5 建築壁のマスキングテープに壁当りAを合わせて、取付けピースと石膏くぎで取付けてください。

- ※. コンセント仕様の場合は、建築壁の電源ケーブル引出し部のセンターが壁当りAの設置位置となります。
- ※. 石膏くぎを押し込む際は、プッシュマジックなどを使用してください。(目次ページ内「推奨工具」参照)
- ※. 石膏くぎを押し込む際は、壁当りAのホローの中に落とさないように注意してください。
- ※. 取付けピース1個所につき石膏くぎを3本使用します。

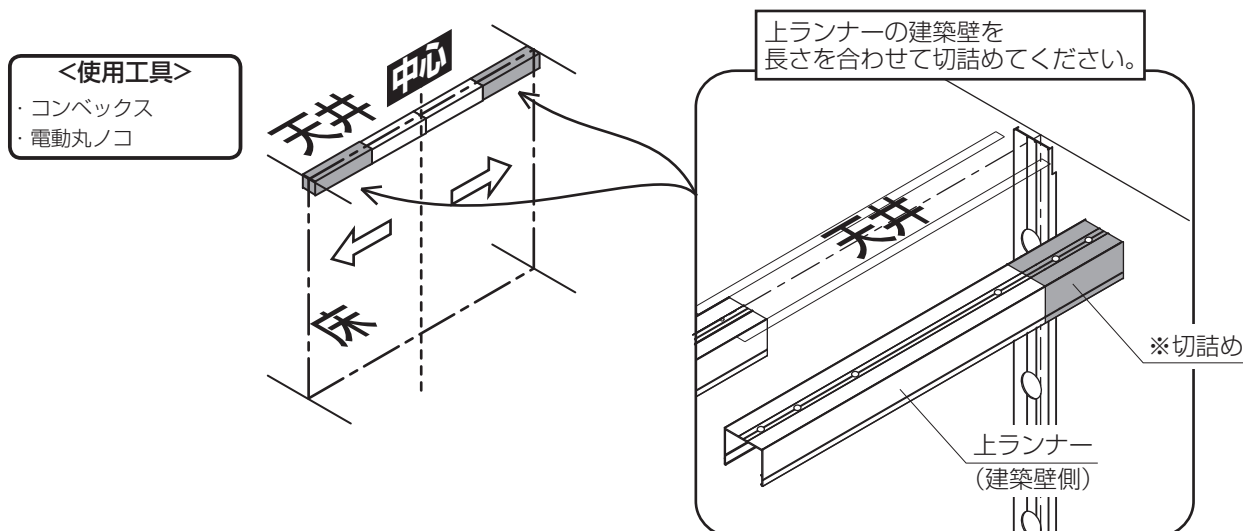


3 上ランナーの取付け

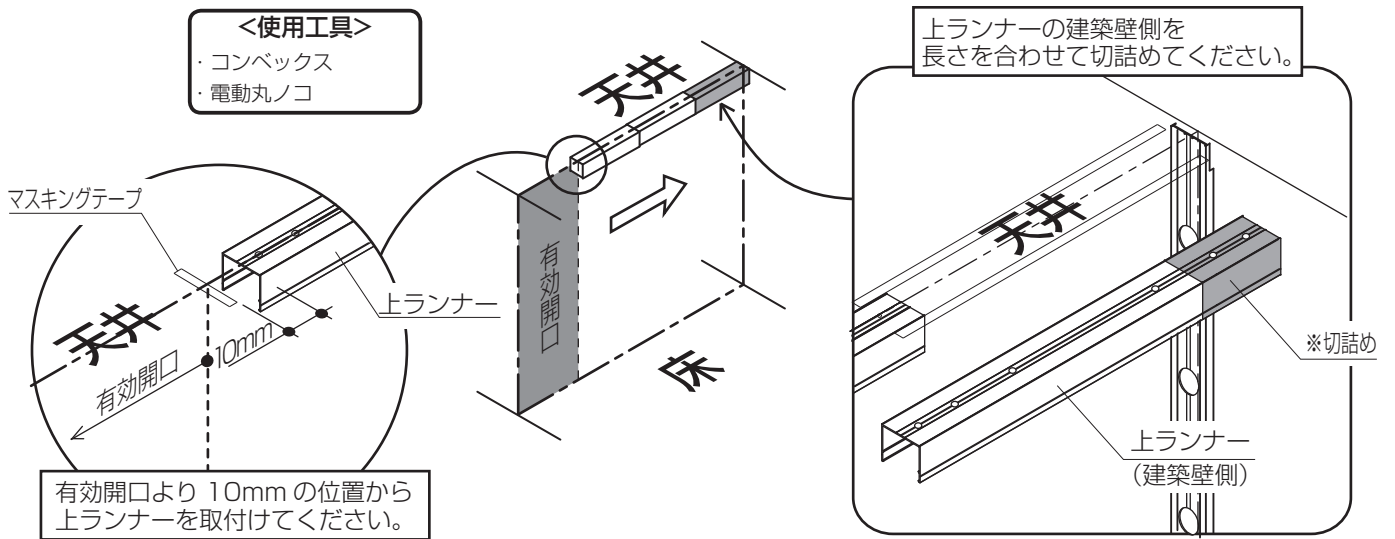
- ① 天井のマス킹テープに合わせて、上ランナーを天井に押し当てながら取付けてください。納まりにより取付ける上ランナーの順番が異なります。各①～③の納まり別の指示に従って取付けてください。



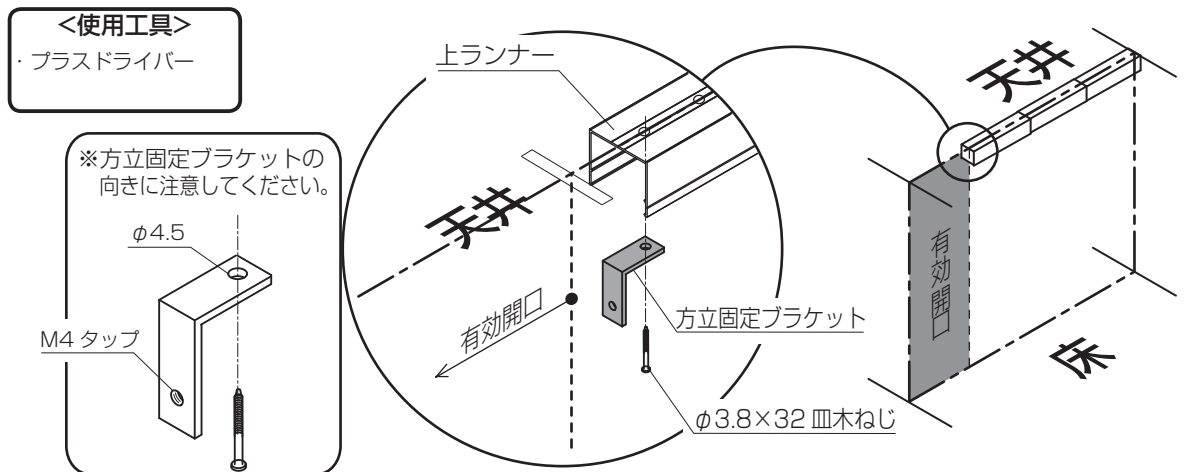
- ① **壁-壁** 建築壁間の中心を決め、中心から両側の建築壁に向かって順番に取付け、建築壁側の上ランナーを切詰めてください。



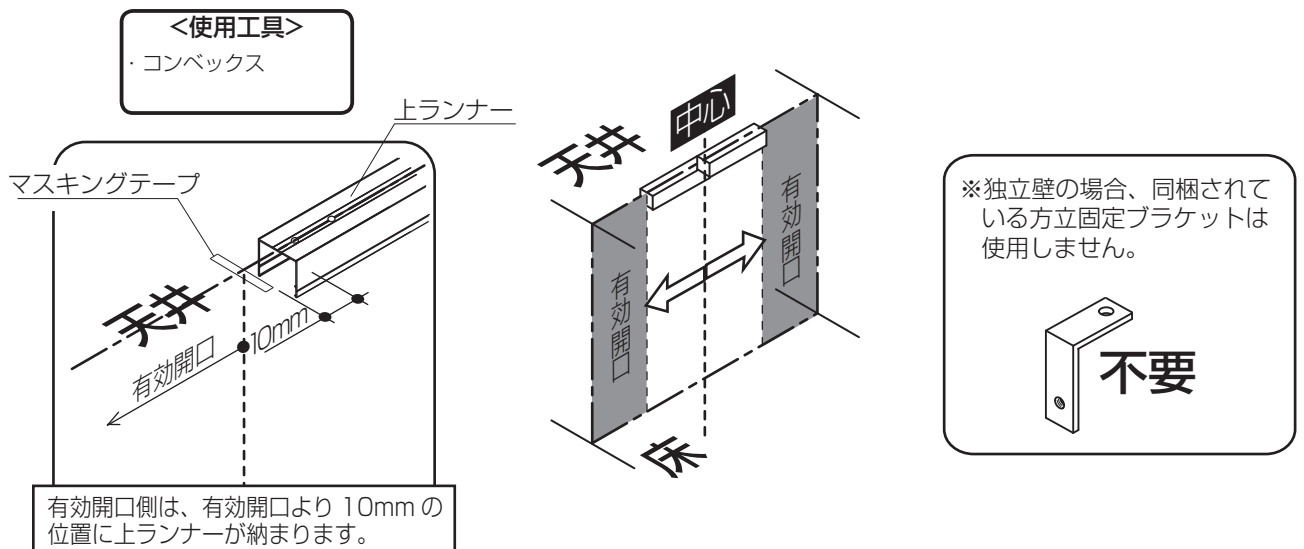
- ②袖壁 1. 建築壁より「有効開口+10mm」の位置から上ランナーをもう一方の建築壁に向かって取付け、建築壁側の上ランナーを切詰めてください。



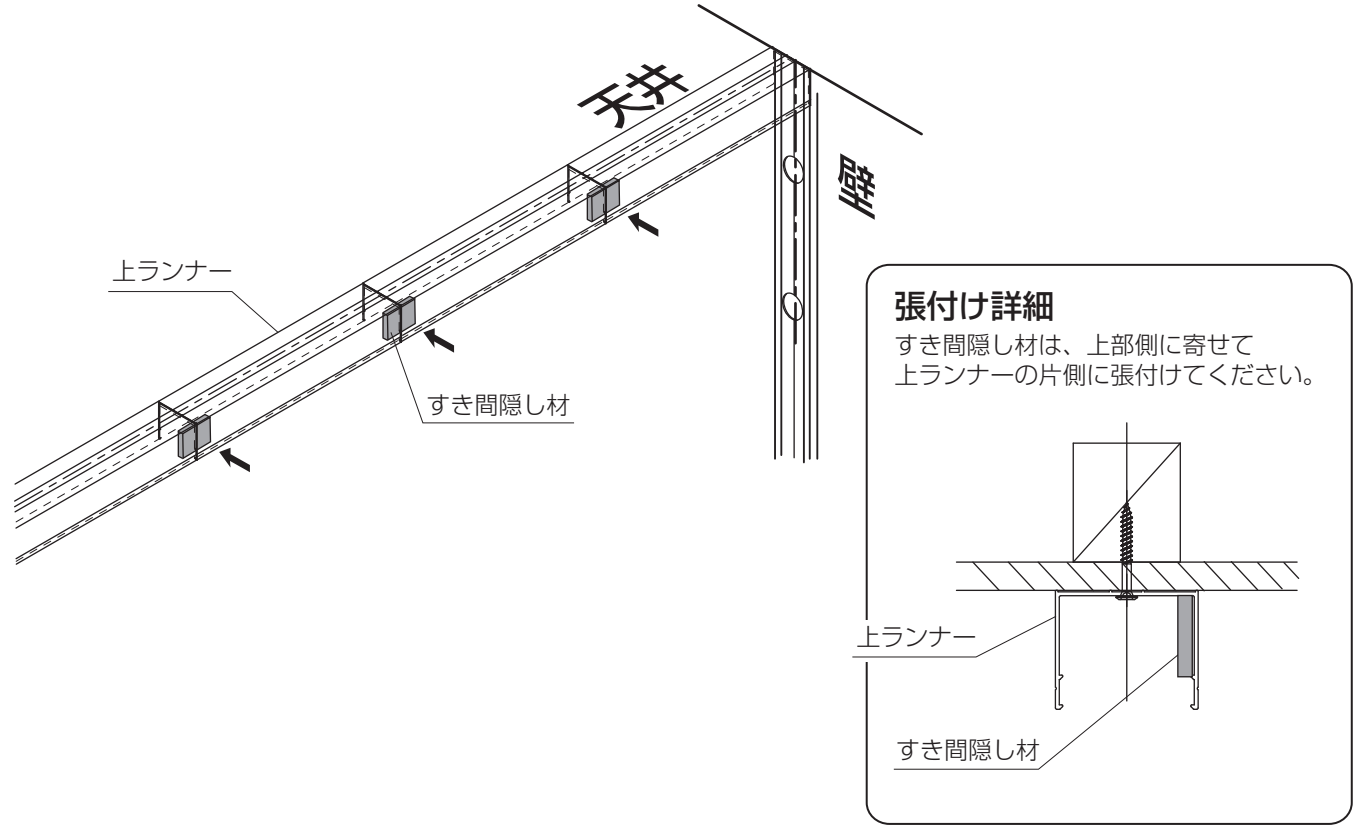
2. 袖壁納まりの場合、同梱されている方立固定ブラケットを上ランナー側の有効開口側の上ランナーに取付けてください。



- ③独立壁 可変間仕切壁を取付ける個所の見付け方向の中心を決め、中心から両側に向かって順番に取付けてください。



2 上ランナーのつなぎ目の内側に、すき間隠し材を張付けてください。



4 下ランナーの取付け

お願い

※設置前に床面の汚れなどをキレイに拭き取ってください。床面に汚れなどがある場合、十分な接着ができません。

1 メカニカルファスナー(フック)を1章で張付けた床面のマスキングテープのセンターになるように張付けてください。

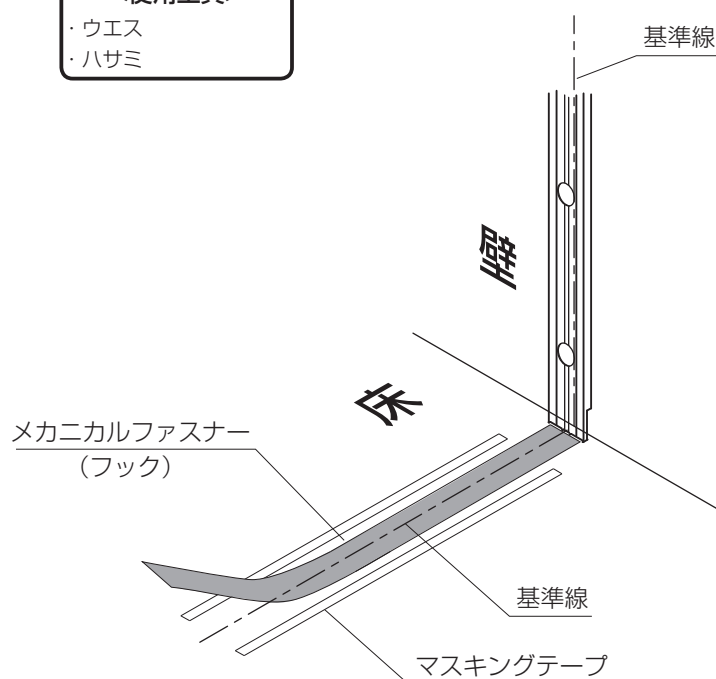
※. メカニカルファスナーの張付け面に空気が入らないようにしてください。

※. メカニカルファスナーにゴミなどが付着しないようにしてください。

※. メカニカルファスナーのつなぎ目は、メカニカルファスナー同士が重ならないように張付けてください。

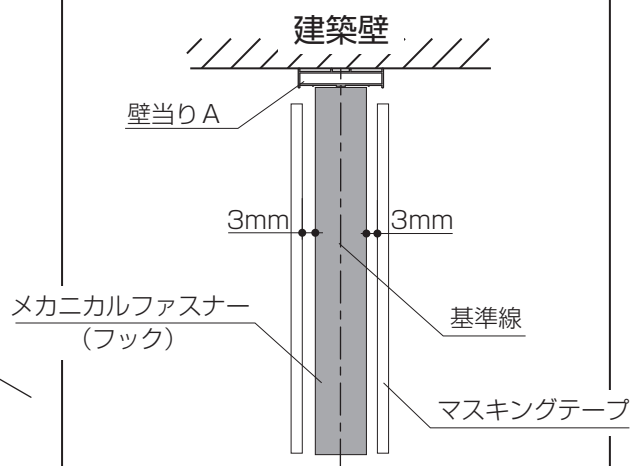
<使用工具>

・ウエス
・ハサミ



平面図

メカニカルファスナーはマスキングテープのセンターになるように張付けてください。

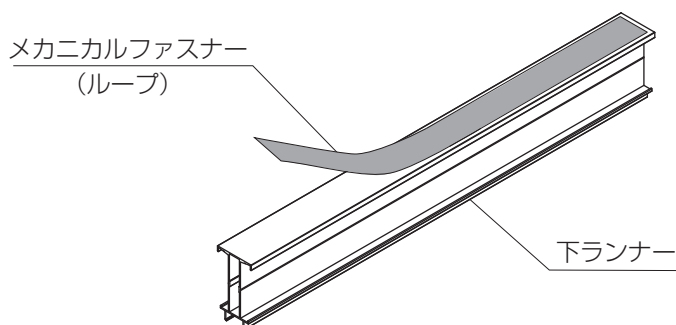


2 下ランナーの汚れなどを拭き取り、メカニカルファスナー(ループ)を張付けてください。

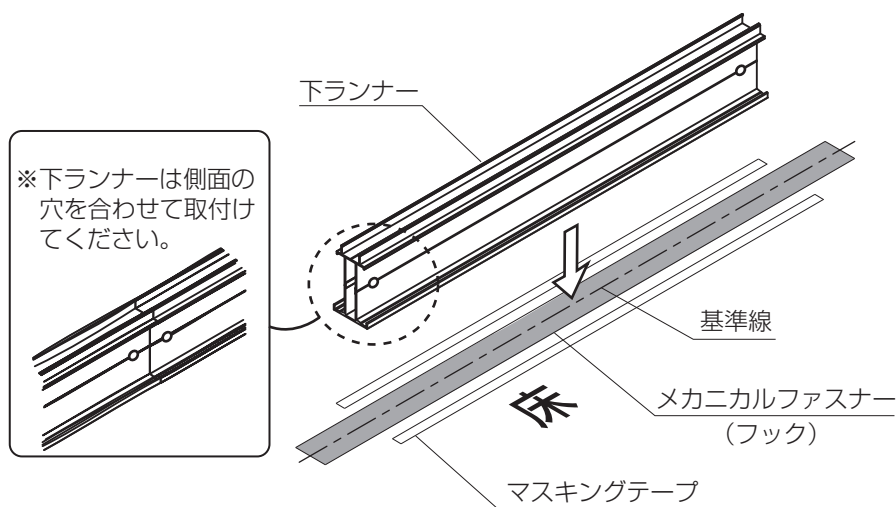
※. 建築壁側に取付ける下ランナーは切詰めが必要になりますので、切詰めを行ってからメカニカルファスナーを張付けてください。

<使用工具>

・ウエス

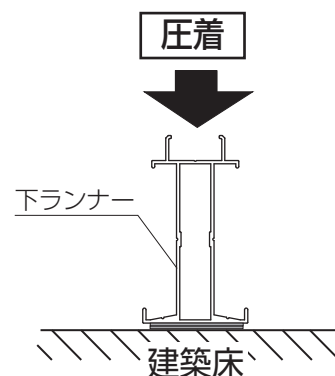


- 3** 床面のマスキングテープに合わせて、下ランナーと床のメカニカルファスナーを張合せてください。
- 納まりにより取付ける下ランナーの順番が異なります。各①～③の納まり別の指示に従って取付けてください。



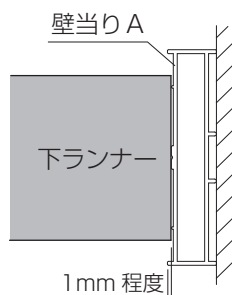
断面図

下ランナーを上から圧着してメカニカルファスナー同士をしっかりと張合せてください。



壁当りAとの取合い

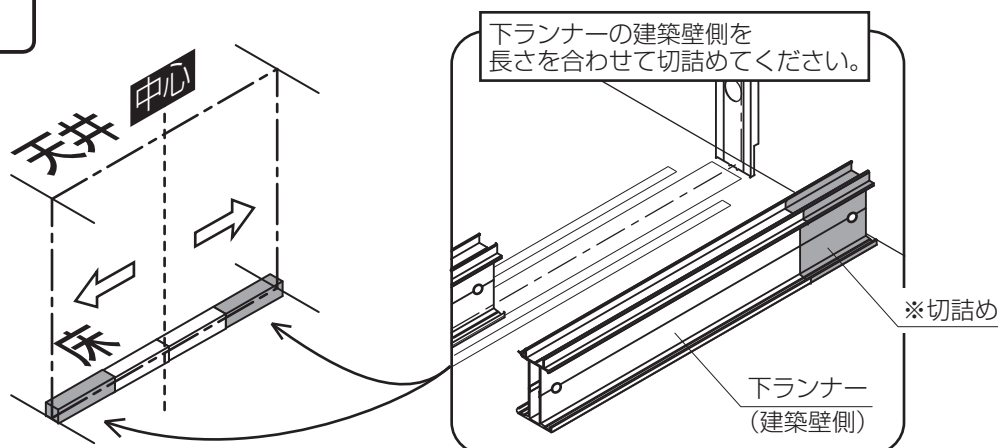
壁当りAと下ランナーの取合いは右のようになります。
納まり別の指示で切詰めを行う際に参照してください。



- ① 壁-壁** 建築壁間の中心を決め、中心から両側の建築壁に向かって順番に取付け、建築壁側の下ランナーを切詰めてください。

<使用工具>

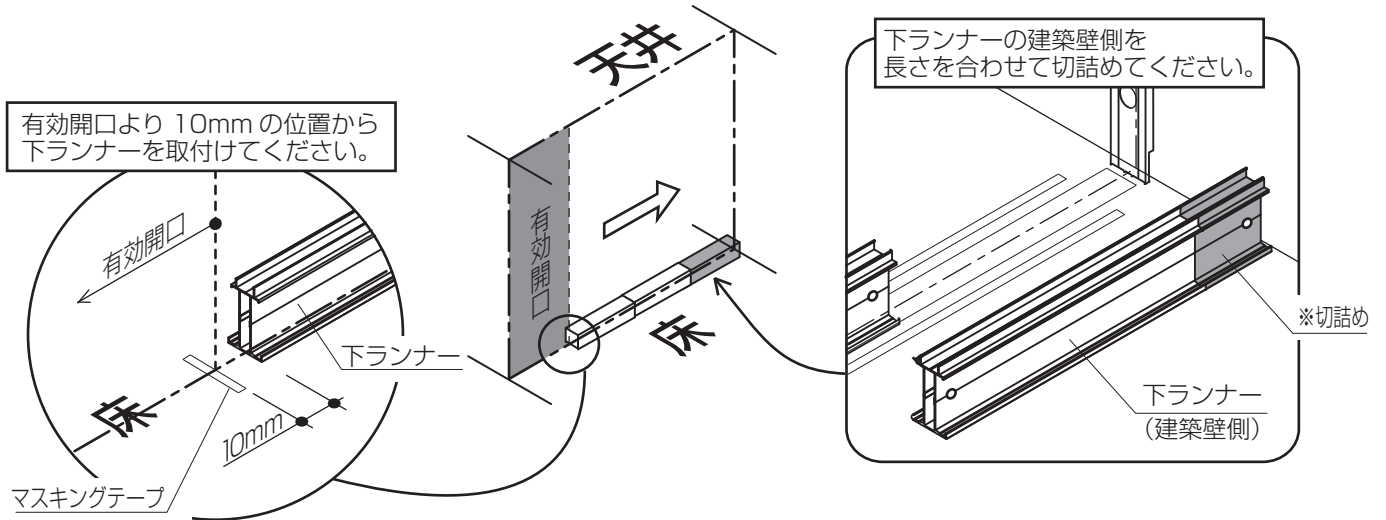
- ・コンベックス
- ・電動丸ノコ



②袖壁 建築壁より「有効開口+10mm」の位置から下ランナーをもう一方の建築壁に向かって取付け、建築壁側の下ランナーを切詰めてください。

<使用工具>

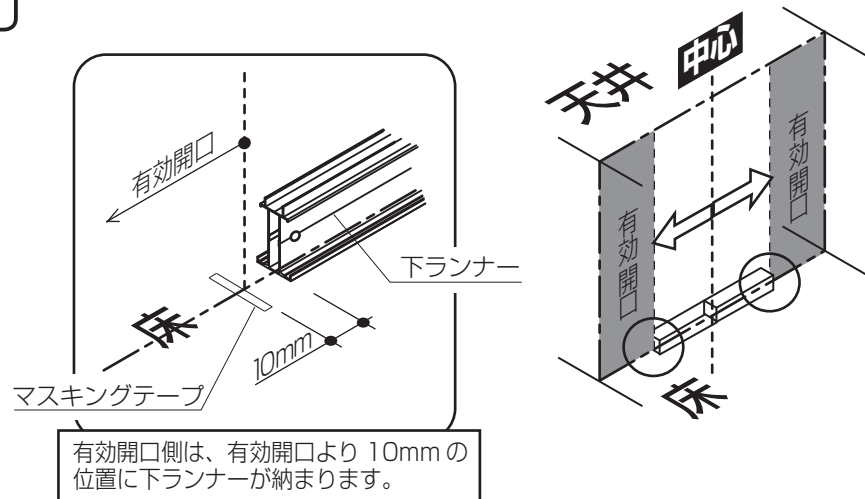
- ・コンベックス
- ・電動丸ノコ



③独立壁 可変間仕切壁を取付ける個所の見付け方向の中心を決め、中心から両側に向かって順番に取付けてください。

<使用工具>

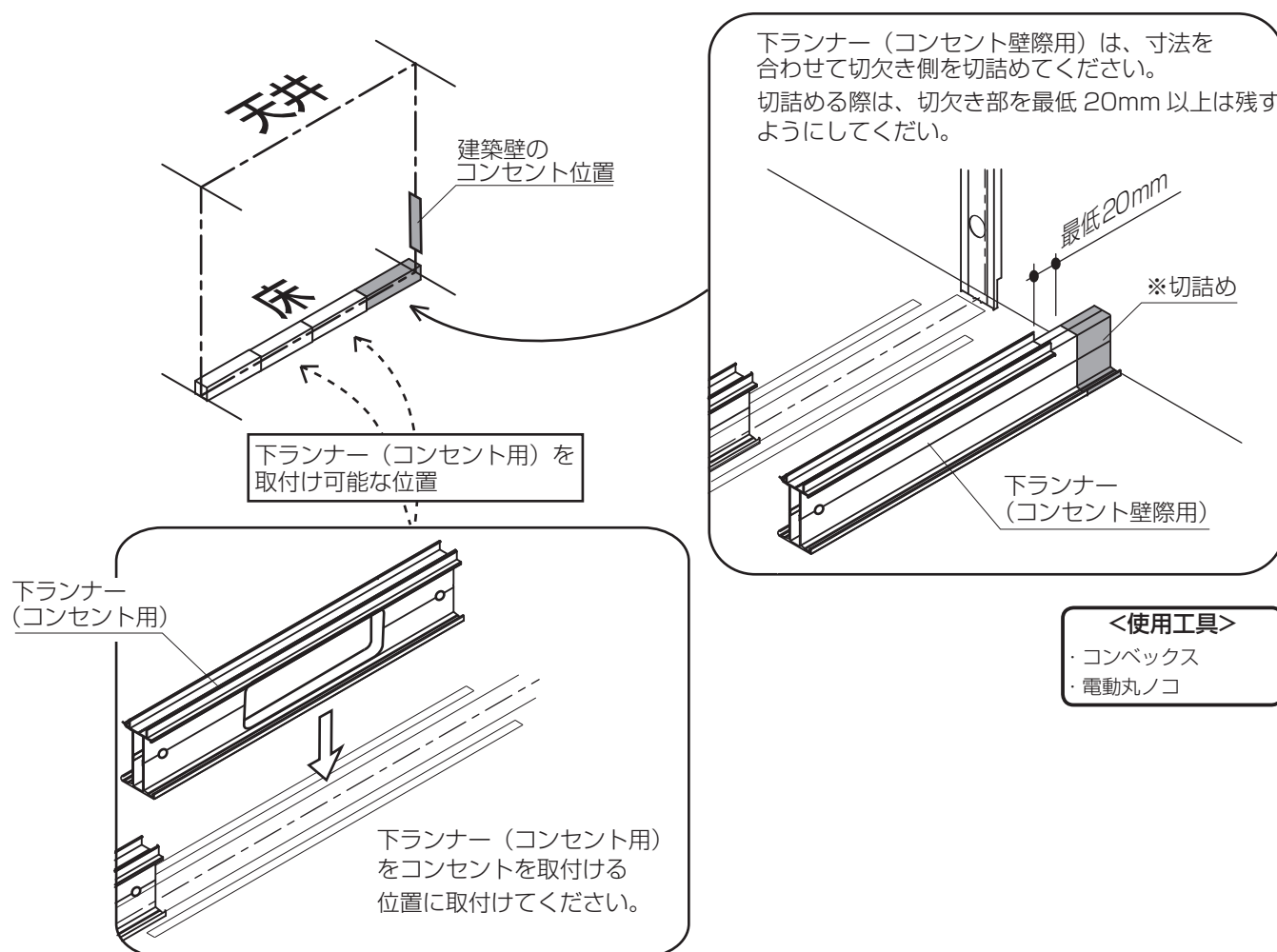
- ・コンベックス



4 コンセント仕様について

コンセント仕様の場合、コンセントのある建築壁側を下ランナー(コンセント壁際用)にして、コンセントを取付ける位置に下ランナー(コンセント用)を取付けてください。

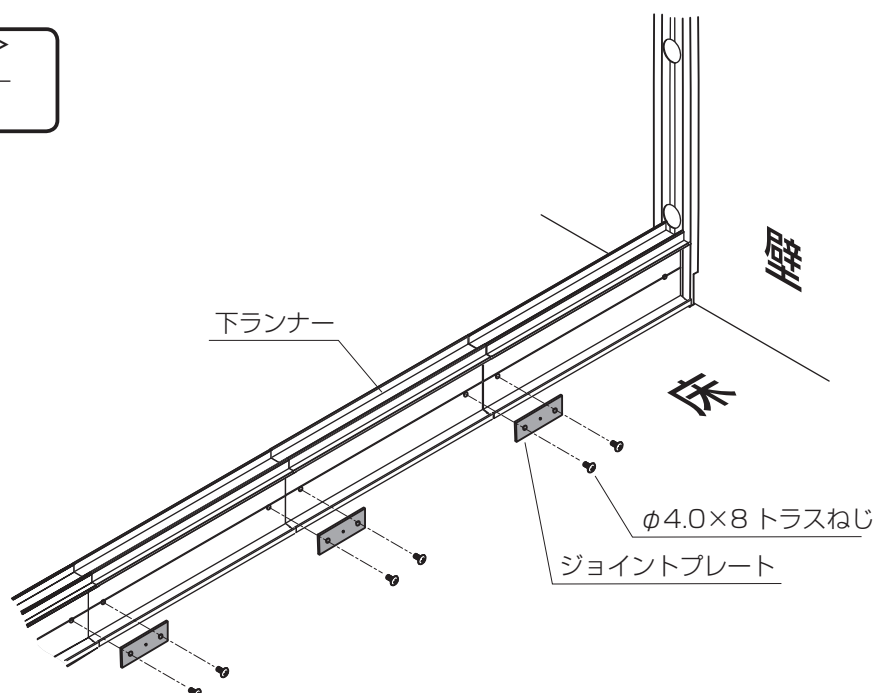
※下ランナーの取付け手順は、各々の納まりの手順に準じます。(P24③を参照してください。)



5 下ランナーのつなぎ目にジョイントプレートを取付けて連結してください。

<使用工具>

- ・プラスドライバー

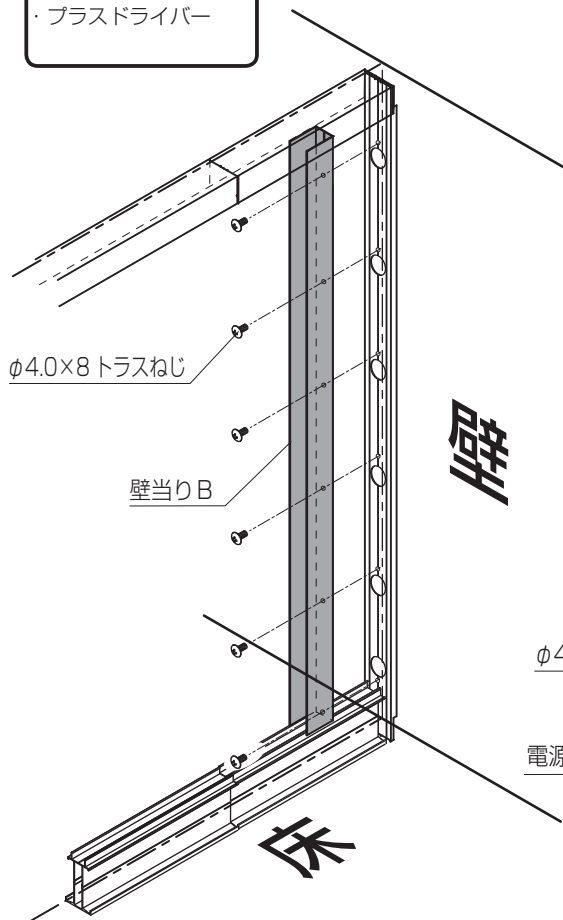


5 壁当りB・Cの取付け

1 壁当りAに壁当りBを図のようにねじで取付けてください。

<使用工具>

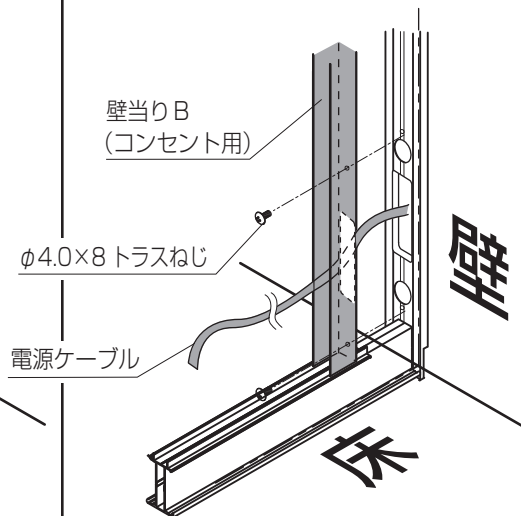
・プラスドライバー



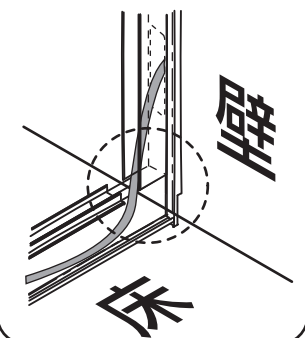
コンセント仕様の場合

①コンセント仕様の場合、コンセントのある建築壁側を壁当りB（コンセント用）にし、コンセントの加工を合わせて取付けてください。

（※. このとき建築壁から出ているケーブルを壁当りBのコンセント加工穴を通して取付けてください。）



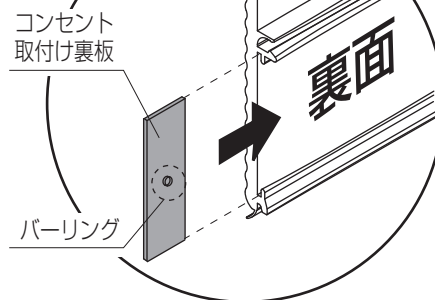
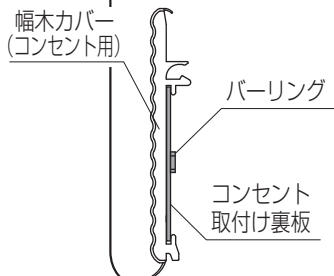
※壁当りB取付け後は、電源ケーブルを下ランナーの加工部に通してください。



②幅木カバー（コンセント用）の端部からコンセント取付け裏板を挿入し、マスキングテープなどで仮止めをしてください。

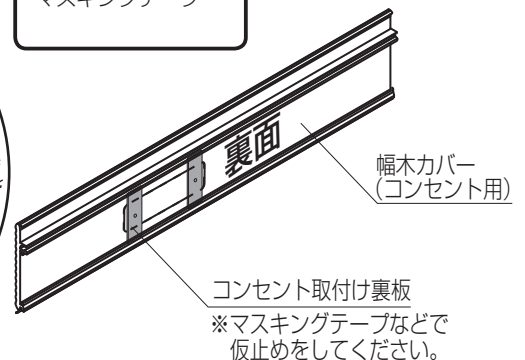
取付け向き詳細

コンセント取付け裏板はパーリング側が幅木カバーの裏面側になります。



<使用工具>

・マスキングテープ



③次の作業は電気工事店様に依頼をして行ってください。

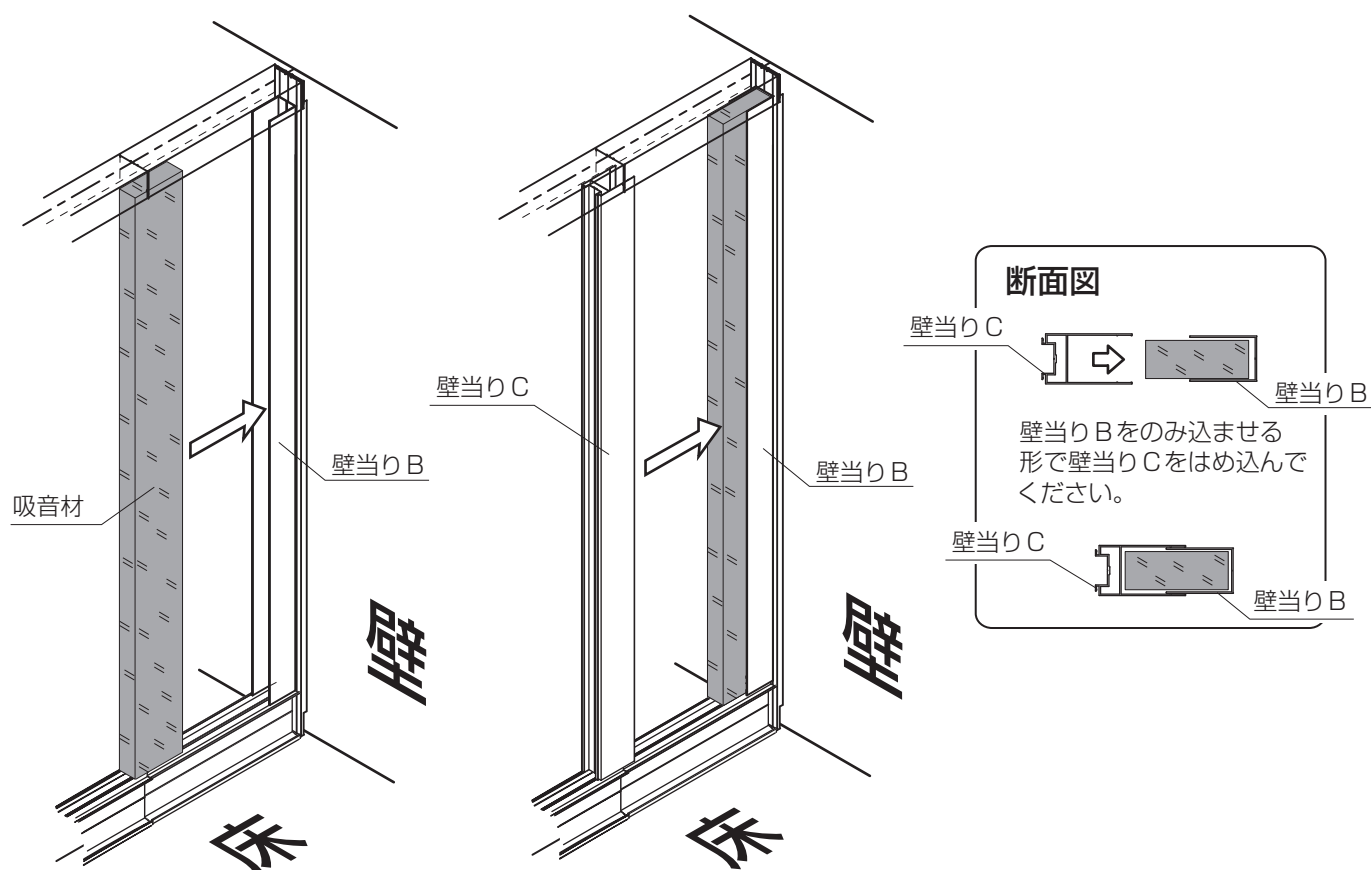
作業内容はP 14を参照してください。

電気工事店様の作業が完了しましたら、通常通りP 27からの作業を行ってください。

▲ 注意

●コンセント仕様の場合、電気工事士の資格が必要になりますので、必ず電気工事店様にご依頼ください。

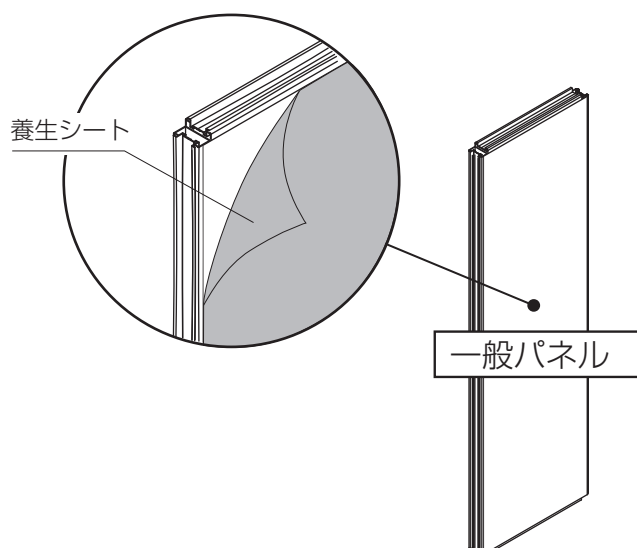
2 吸音材を壁当りBに入れ、壁当りCを壁当りBにはめ込んでください。



6 パネルの建込み

1 一般パネルの養生シートをはがしてください。

※. シースルーパネルの場合は、パネルを建込む前に養生シートをはがす必要はありませんので取付け完了後にはがしてください。

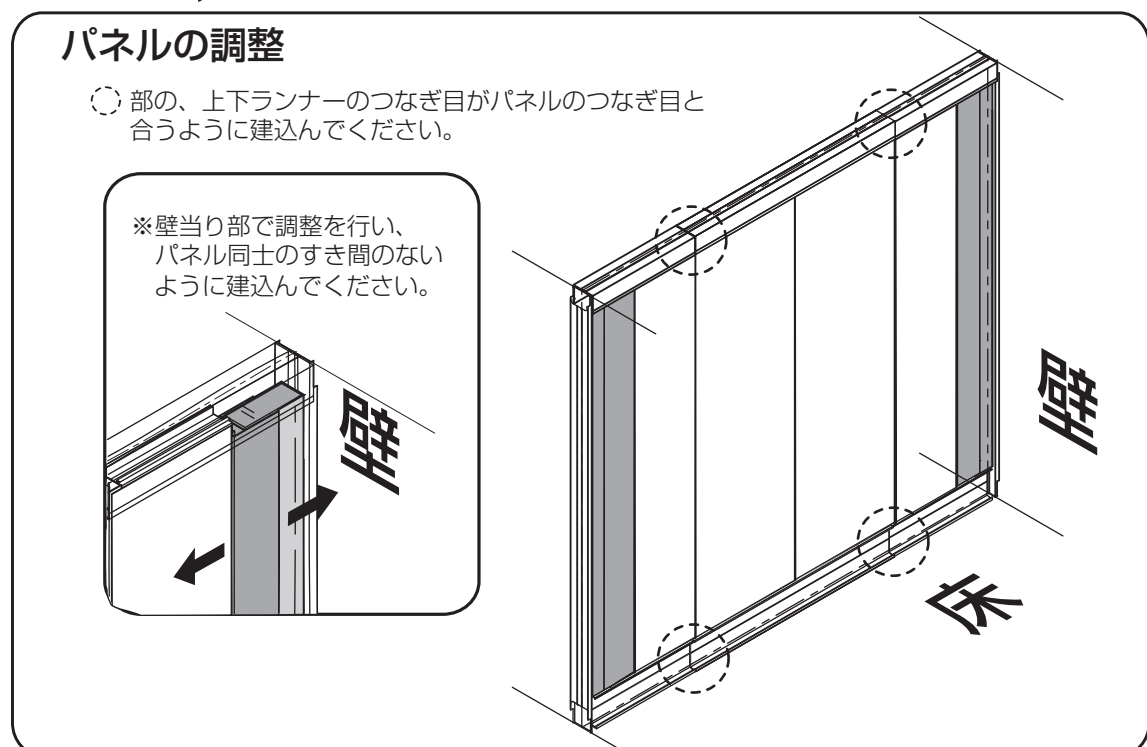
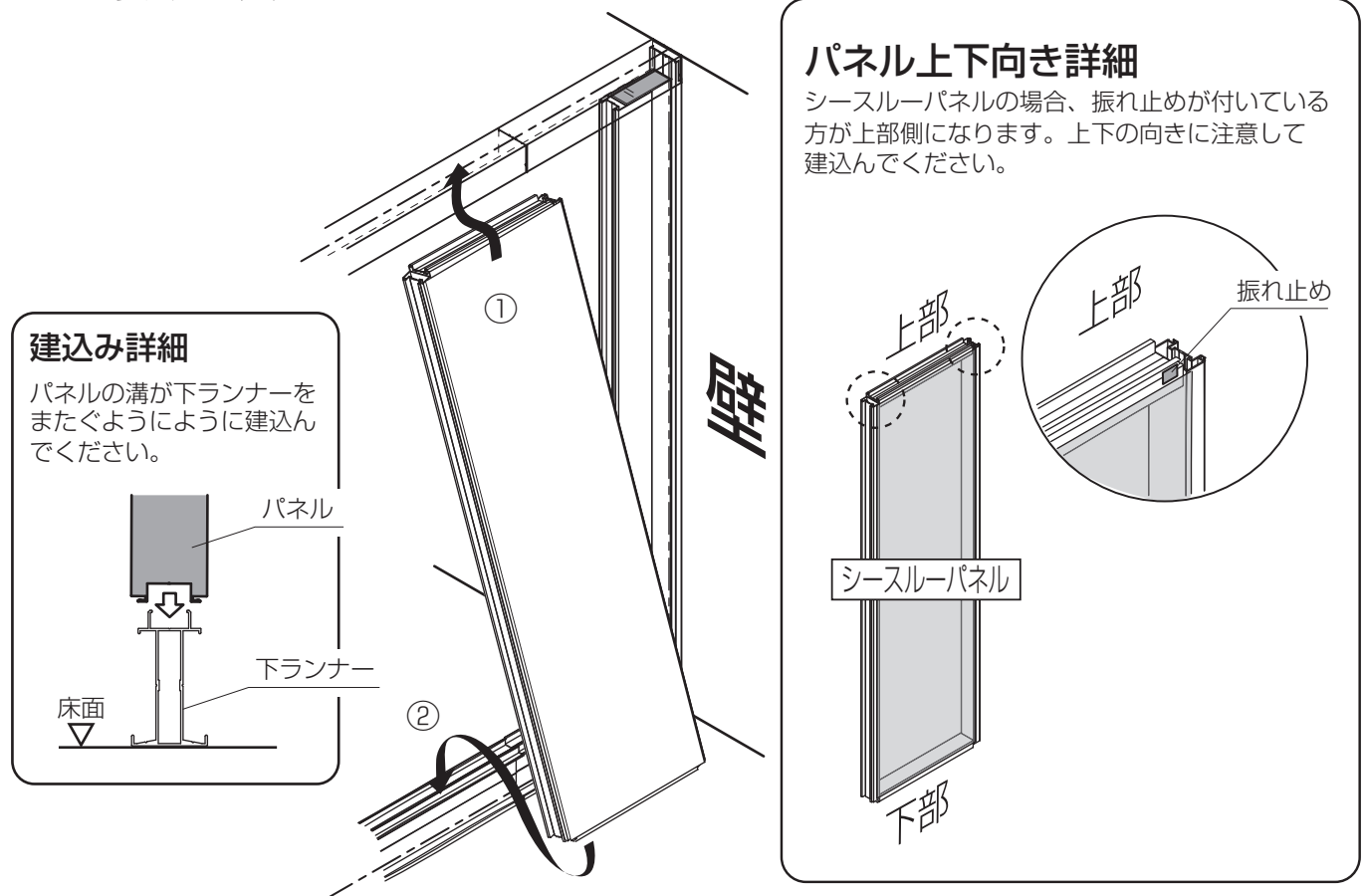


お願い

※養生シートがパネルの表面に残らないようにはがしてください。

2 パネルを持ち上げて①上部を上ランナーにのみ込ませた後、②下部を下ランナーにのせて建込んでください。

※. シースルーパネルにシースルー引戸を取付ける納まりの場合、シースルーパネルの表裏の向きを、別途スタイルシフトウォール用引戸取付け説明書内の納まり図を参照して建込んでください。



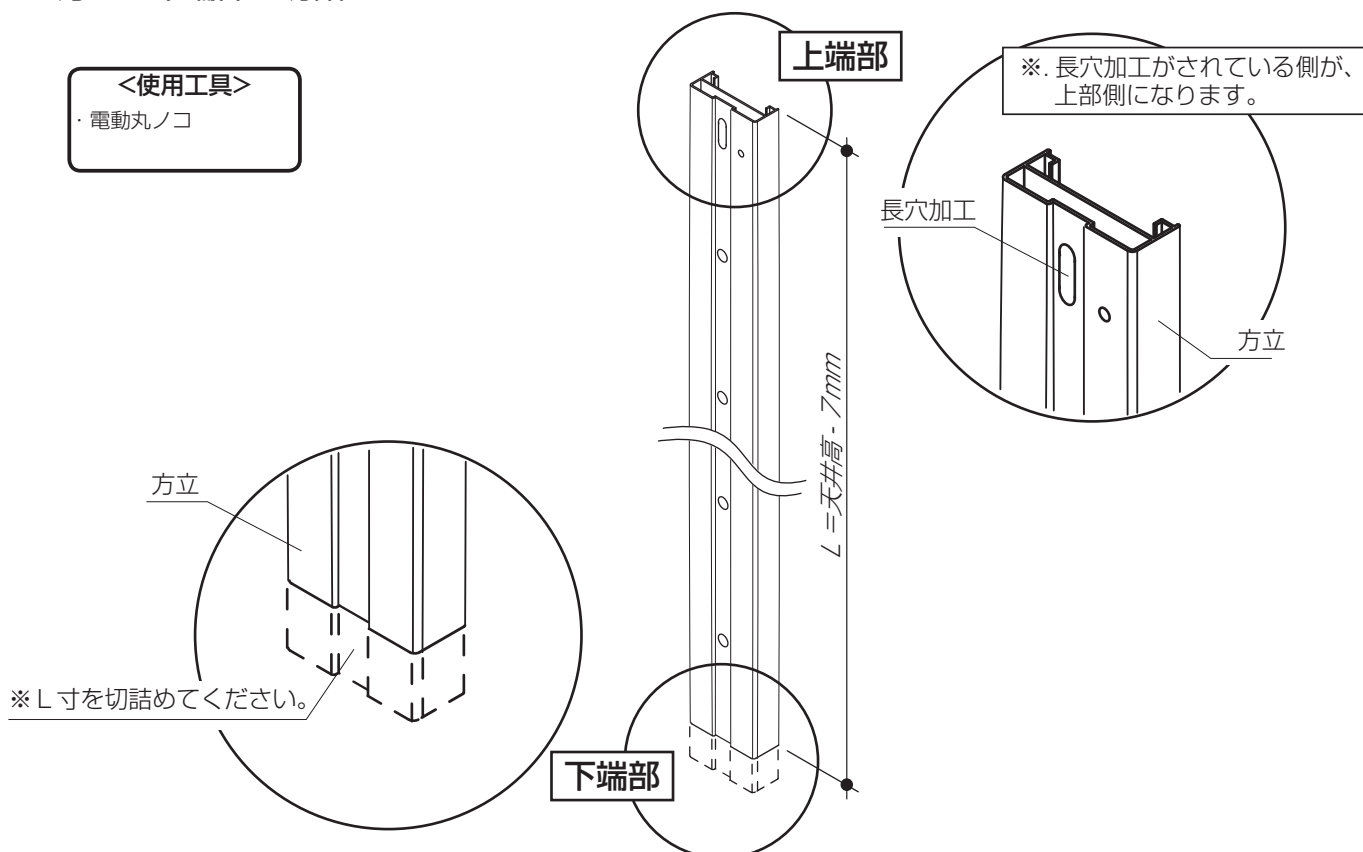
3 パネルの建込みが完了した後に、1章でマーキングをした床・壁・天井のマスキングテープをはがしてください。

7 方立の取付け

- ❶ 方立の設置個所の天井高を測定し、方立のL寸が「方立L = 天井高 - 7mm」になるように、方立の下端部を切詰めてください。

<使用工具>

・電動丸ノコ



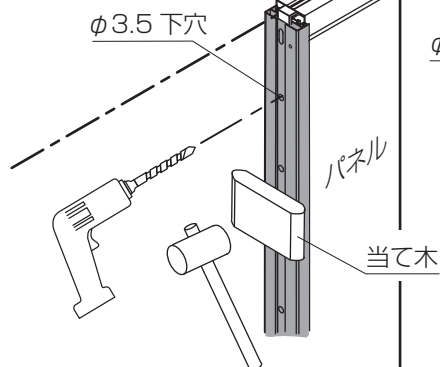
- ❷ 方立をパネルにあてがい、方立の穴加工を利用してパネルの側面にφ3.5の下穴をあけてください。
- ❸ 方立をパネルの側面にねじで取付けてください。

<使用工具>

・電気ドリル
・ドリル刃 φ3.5
・プラスドライバー

方立をパネルにあてがったままパネル側面に下穴を開けてください。

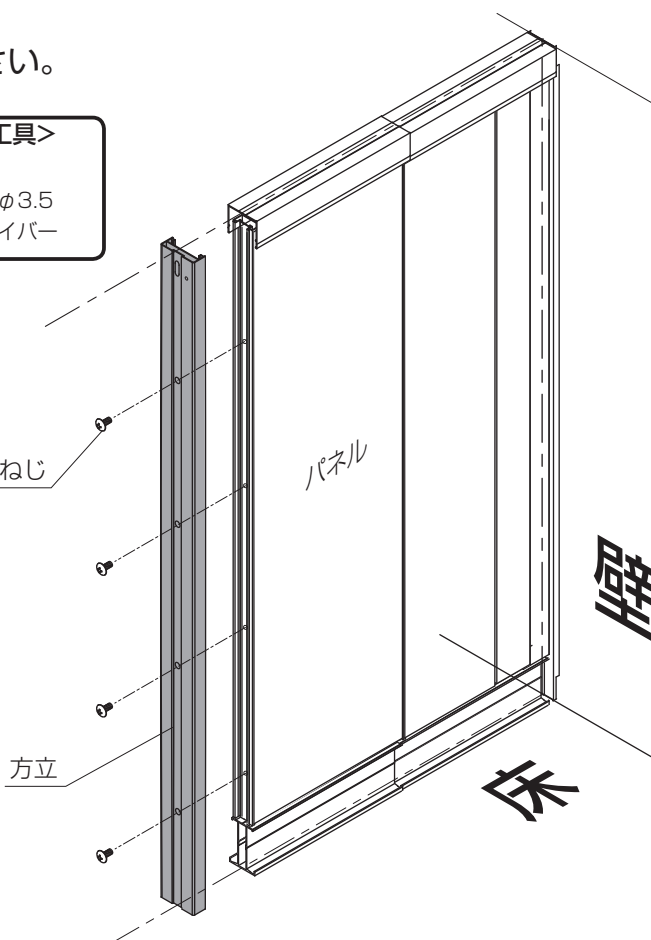
また、方立をあてがう際にはめ込みが硬い場合は、プラスチックハンマー等で叩き込んでください。



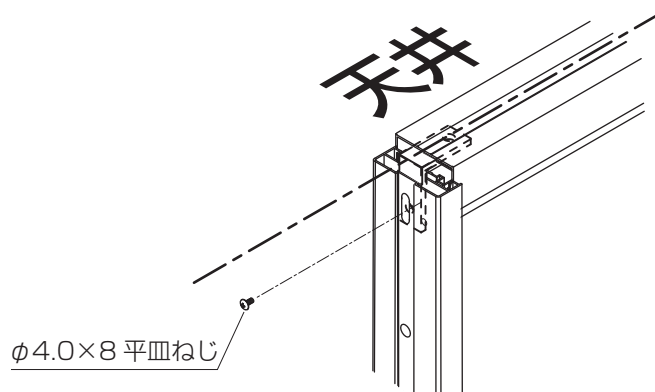
お願い

※シースルーパネルの場合、下穴をあける際はパネル側面のホロー材を貫通しないように注意してください。

φ4.0×14 なべねじ



- 4** 方立上部の長穴にねじを取付け、Lアングルと方立を固定してください。
 ※袖壁納まりの場合のみになります。独立壁の場合、この作業はありません。

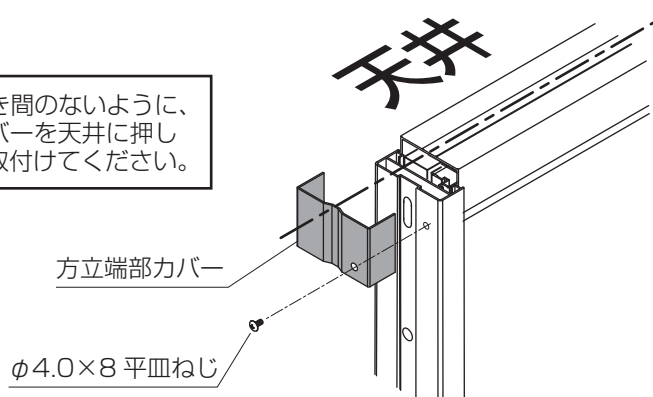


<使用工具>

・プラスドライバー

- 5** 方立上端カバーを、方立の上部にねじで取付けてください。

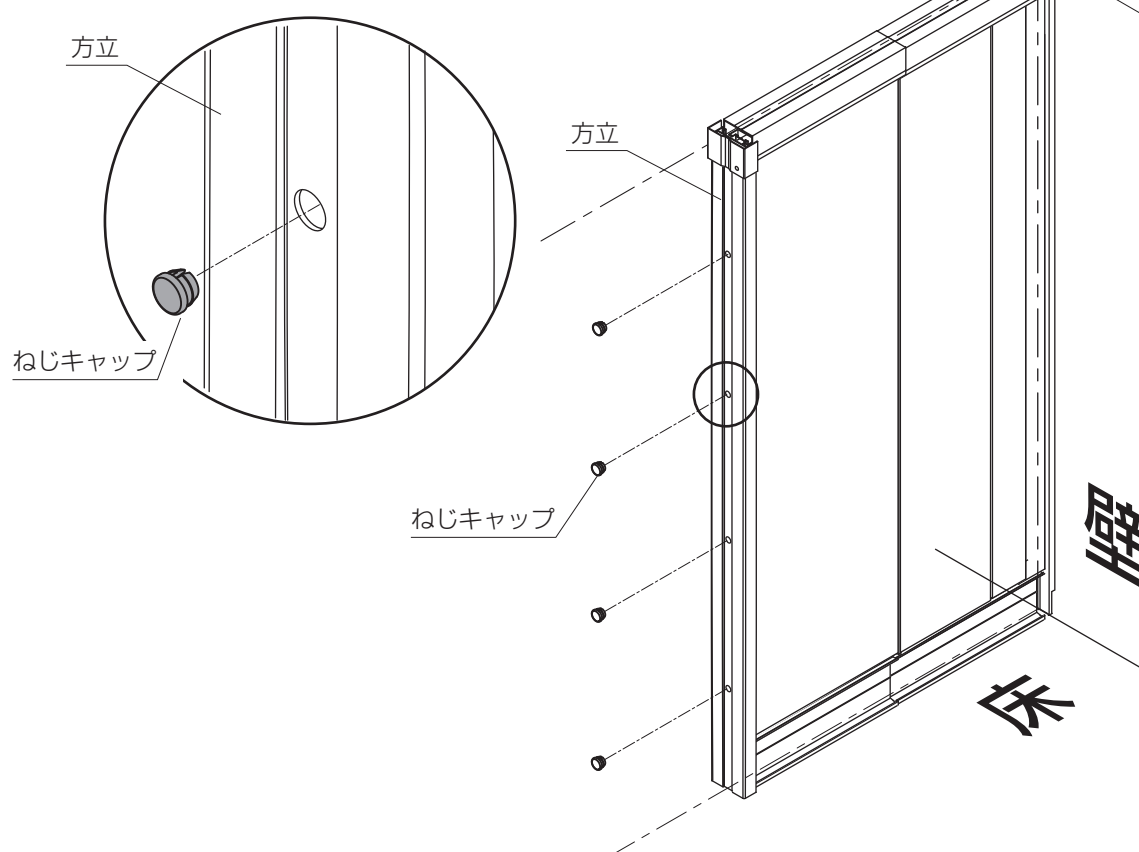
※. 天井とのすき間のないように、
方立端部カバーを天井に押し
つけながら取付けてください。



<使用工具>

・プラスドライバー

- 6** 方立の取付けねじ穴に、ねじキャップを取付けてください。



8 目地カバーの取付け

- 1 パネルとパネルをジョイントする目地カバーを取付けます。目地カバーを上ランナーにのみ込ませて、木片などで当て木をして上部側からプラスチックハンマーで叩き込んで取付けてください。

<使用工具>

- ・プラスチックハンマー
- ・ニッパー
- ・木片(厚さ4mm程度)

※. 上ランナーに目地カバーを 10mm 程度のみ込ませて取付けてください。

上ランナー

目地カバー

目地カバー

当て木

断面図

目地カバー

目地カバーは叩き込むことで
パネルより 1mm 程度沈んで
取付きます。

※尖っている
ものは不可

当て木詳細

当て木にする木片は、厚さ 4mm 程度の
板を使用してください。
また、目地カバーを打ち込む部分は
角がとれているものを使用してください。
(目地カバーをキズつけないためです。)

当て木

厚さ 4mm 程度

※. 目地カバーが長い場合は、パネル
に合わせて切詰めてください。

目地カバー切詰め詳細図

※目地カバーの端部がこの範囲
(幅木カバーのみ込み寸法) になる
ように切詰めてください。

10mm

一般パネル

シースルーパネル

下ランナー

下ランナー

9 幅木カバーの取付け

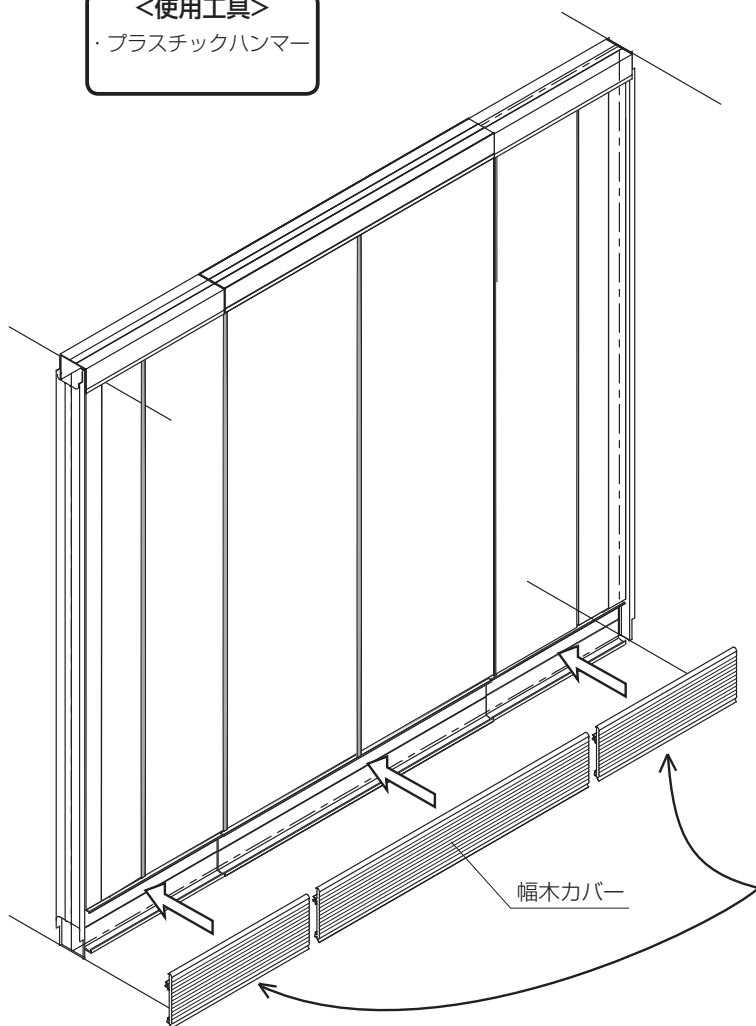
1 下ランナーに幅木カバーを叩き込んで取付けてください。

※. 幅木カバーは下ランナーと同じ長さのものを同じ場所に取り付けてください。

※. はめ合いが硬い場合は、当て木をしてプラスチックハンマーで叩き込んで取付けてください。

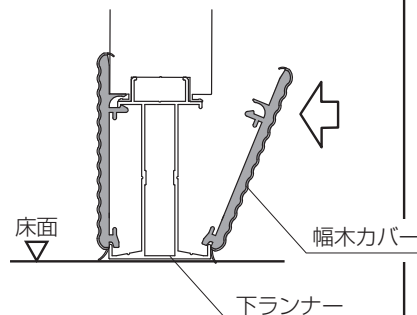
<使用工具>

・プラスチックハンマー



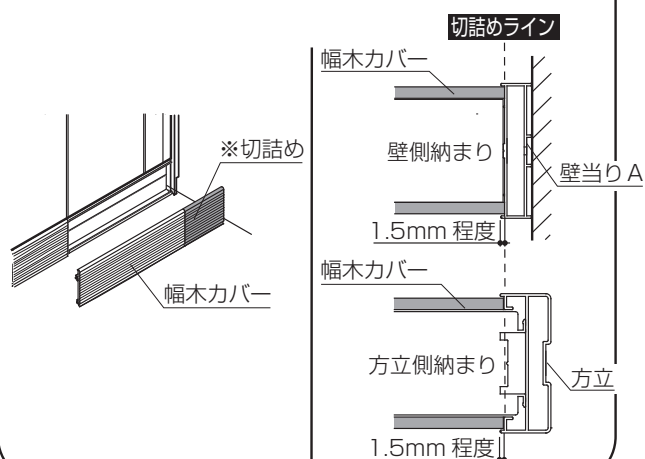
取付け詳細

下ランナーに幅木カバーの下側を先にかけた後、上側を叩き込んで取付けてください。

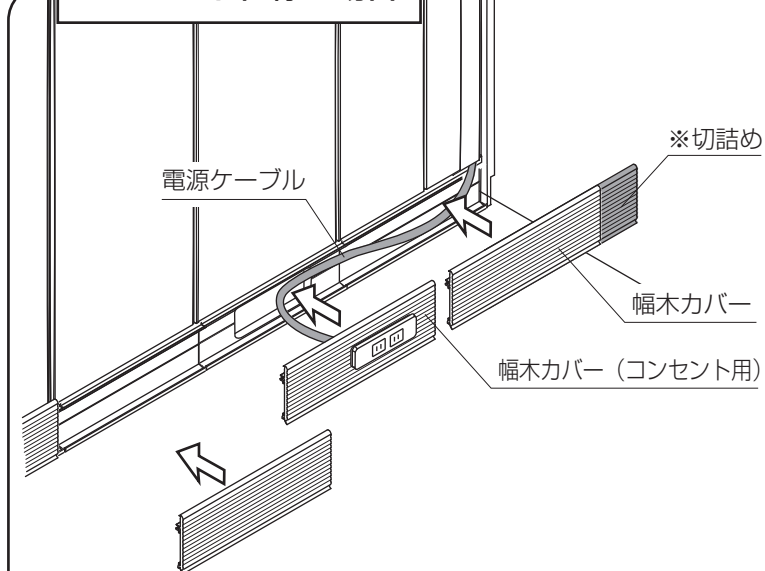


切詰め詳細

幅木カバーの建築壁側、及び方立側は長さを合わせて切詰めてください。



コンセント仕様の場合



①コンセント仕様の場合も同様に建築壁側の幅木カバーは長さを合わせて切詰めてください。

※. 幅木カバー（コンセント用）の切詰めはしません。

②電源ケーブルが下ランナーと幅木カバーの間を通るようにし、幅木カバーを取付けてください。

お願い

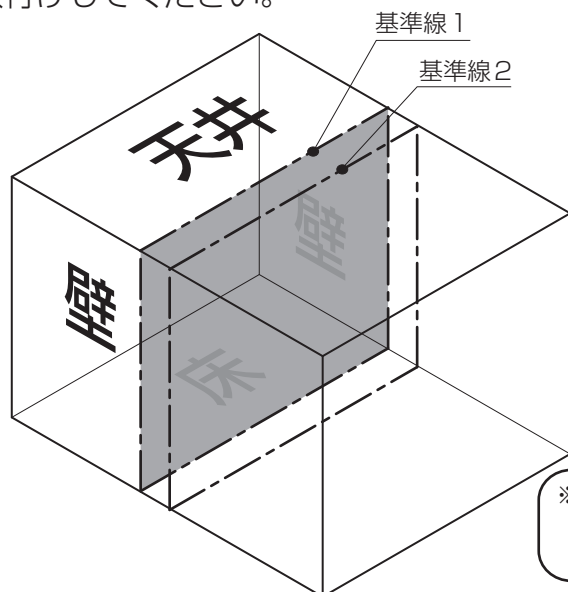
※ケーブルを無理に引っ張らないでください。

10 ダブル壁の取付けについて

壁一壁	袖壁	独立壁
納まり		

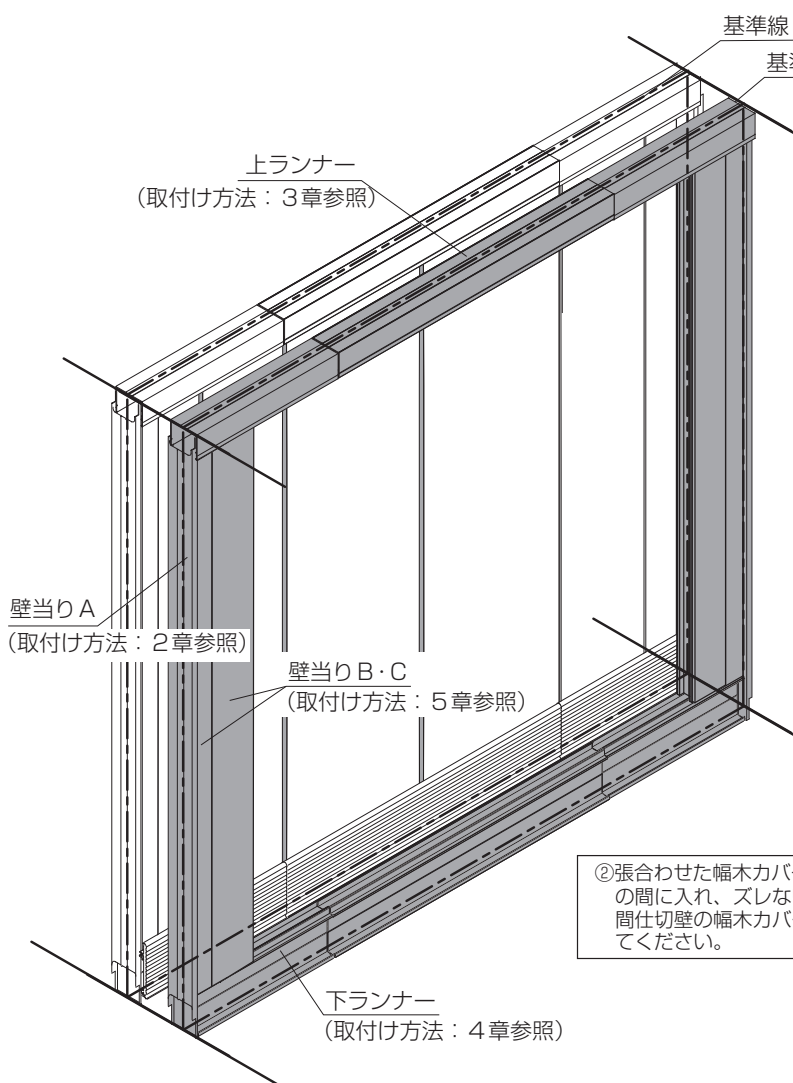
1 1章～9章を参照し、基準線1にマーキングをした個所に、先工程として片側の可変間仕切壁を取付けてください。

※. ダブル壁(片面コンセント仕様)の場合は、コンセントを取付ける可変間仕切壁から先に取付けしてください。



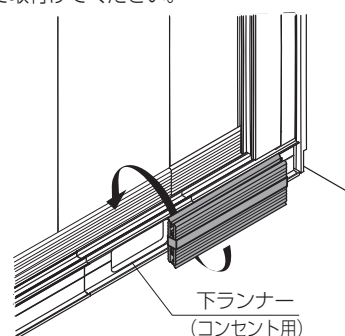
※ダブル壁の場合、「袖壁」「独立壁」納まりはありません。
「壁一壁」納まりのみの設定になります。

2 1章～5章を参照し、基準線2にマーキングをした個所に、後工程としてもう片側の可変間仕切壁を「5章 壁当りB・Cの取付け」まで取付けてください。



ダブル壁(両面コンセント仕様)の場合

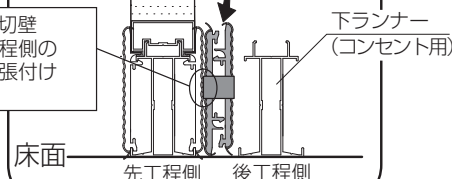
次項4で取付ける吸音材がコンセントの結線部に直接触れるのを防ぐため、後工程で取付ける間仕切壁のコンセント部となる個所には、間仕切壁の間に予備分の幅木カバーをテープで取付けてください。



取付け手順詳細

① 予備分の幅木カバー2つをマスキングテープで張合わせてください。

② 張合わせた幅木カバーを可変間仕切壁の間に、ズレないように先工程側の間仕切壁の幅木カバーにテープで張付けてください。



3 1章でマーキングをした床・壁・天井のマスキングテープをはがしてください。

4 吸音材を $L = H(h)$ の寸法にカットしてください。

※コンセント仕様の場合、コンセントを取付ける位置の吸音材は $L = H(h) - 85\text{mm}$ の寸法にカットしてください。

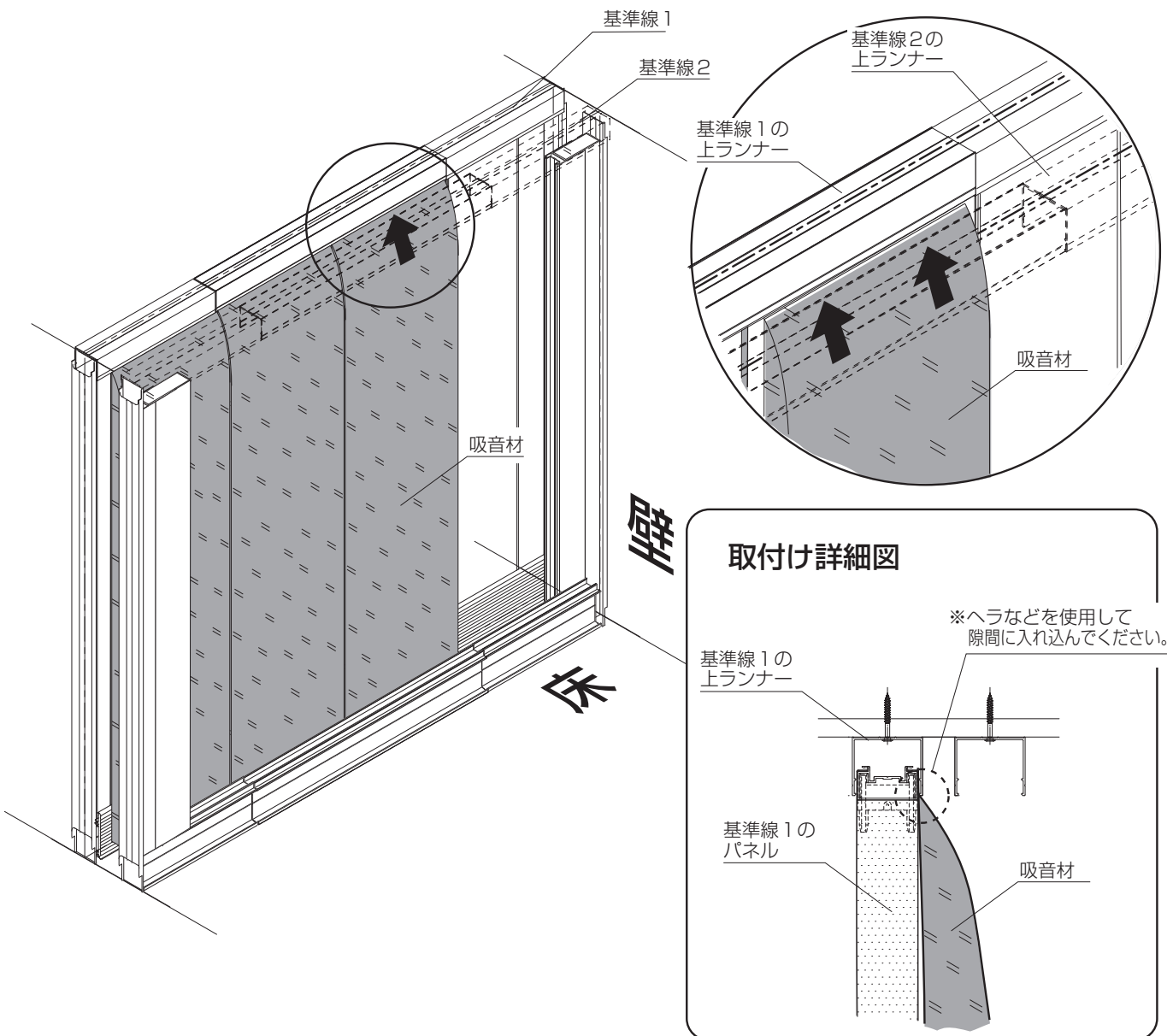
<使用工具>

・ハサミ

5 先に取付けが完了している基準線1の可変間仕切壁の上ランナーとパネルの間に、ヘラなどを使用して吸音材の上端部を入れ込んで吊るしてください。

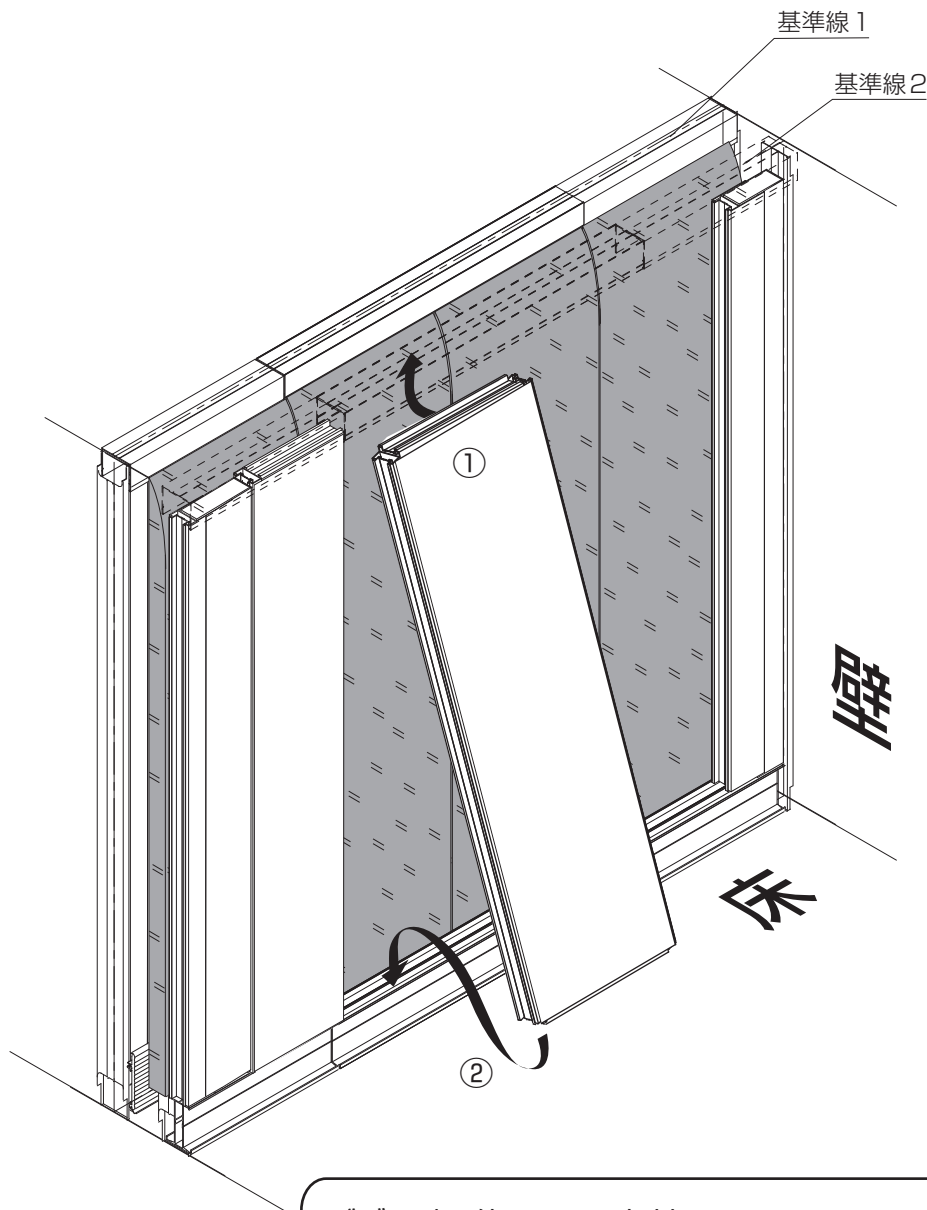
<使用工具>

・ヘラ



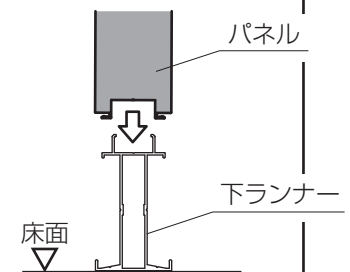
6 パネルの養生シートをはがしてください。(6章1を参照してください。)

7 基準線2の可変間仕切壁にパネルを建込みます。パネルを持ち上げて①上部を上ランナーにのみ込ませた後、②下部を下ランナーにのせて建込んでください。



建込み詳細

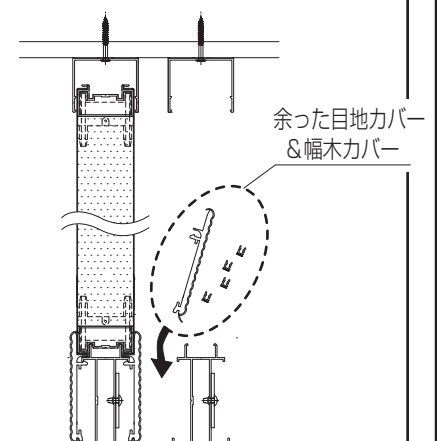
パネルの溝が下ランナーをまたぐように建込んでください。



ダブル壁の使用しない部材について

※. 基準線2の間仕切壁どうしの内側になってしまう個所には、目地カバー及び幅木カバーの取付けは行いません。余った目地カバー及び幅木カバーは、移設する際に使用しますので、パネルを建込む際に2つの間仕切壁の間に入れてください。

断面図



- 8 基準線2の可変間仕切壁に目地カバーを取付けてください。（8章を参照してください。）
- 9 基準線2の可変間仕切壁の下ランナーに、幅木カバーを叩き込んで取付けてください。（9章を参照してください。）

11 取付け後の製品確認と養生

▲ 注 意

- 取付け完了後、ゆるみやガタツキ、及び使用上の不具合や危険な個所がないかを確認してください。
また、商品にキズや、ヘコミなどがないか確認してください。
- 取付け完了後に清掃を行い、引渡し前にキズがつくおそれがある場合はダンボールなどで養生をしてください。

12 移設について

- 1 移設をする際、下表の部品は消耗品となります。部品を手配して新品に交換してください。

名称	代表部品No
目地カバー	CY-2378
幅木カバー	CY-2460
ランナー部品セット	SE-1828
方立取付け部品セット	SE-1829
方立上端カバーセット	SE-1683
石膏くぎセット	SE-1812
壁当り取付けねじセット	SB-3879

13 商品保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障・損傷などの不具合(以下「不具合」という)が発生した場合には、お取り扱いの取付け業者、工務店、販売店または当社支店・営業所に修理をご依頼ください。

■保証期間

取付け業者より商品の引渡し日(※1、※2)から起算して次の期間とします。

①商品の不具合については2年間。

※1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日を起算日とします(ただし、保証対象は改修部分のみ)。

※2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引渡し日を起算日とします。

■保証内容

取扱説明書、本体貼付けラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

■免責事項

保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

- ①当社の手配によらない第三者の加工上、組立て上、取付け上、管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合(例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良による変色や腐食など)
- ②表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
- ③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ④商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩擦など。木製品の反り、曲がり、ねじれ、ささくれ、ひび割れ、色褪せ、変色など、樹脂部分の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合
- ⑤自然現象や住環境に起因する結露などの不具合
- ⑥環境が特に悪い地域や場所での腐食又はその他の不具合(例えば、海岸地帯での塩害による腐食、大気中の砂塵・煤煙・各種金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガス、給湯機器などの燃焼ガスなどが付着しておきる腐食、異常な高温・低温・多湿による不具合など)
- ⑦メンテナンス上の不備に起因する商品の不具合(例えば商品又は部品を長期間、清掃く水洗いなど>をしないことによっておきる腐食、シミ、汚れの発生など)
- ⑧天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により、商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑨実用化されている技術では予測及び防止することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
- ⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合
- ⑪植栽による不具合(例えば、商品に隣接した植栽による開閉障害、根による防水層の破損など)
- ⑫引渡し後の使用上の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理(お手入れ)を行わなかったことによる不具合
- ⑬お客様自身による組立て、取付け、修理、改造(必用部品の取外しを含む)に起因する不具合
- ⑭本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とします。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

商品に関するお問合せは、お客様相談センターまで

- ・商品のご購入・使い方などのご相談
- ・有償での修理と部品のご購入

 **0120-126-001** Fax 03-3638-8447

受付時間・・・月～金 9:00～18:00(祝祭日、年末年始、夏期休暇等は除く)

外壁材に関する商品相談は・・・旭トステム外装(株) サービスデスクナビダイヤル 0570-001-117

店舗関連商品に関する商品相談は・・・Tel 03-3638-8152 月～金 9:00～17:00(祝祭日、年末年始、夏期休暇等は除く)

商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行う場合がありますのでご了承ください。

個人情報の取り扱いについて

当社は、当社商品のユーザー様および流通業者様等の個人情報を商品納入に当たって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他目的のために利用いたします。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、下記ホームページまで

<http://www.lixil.co.jp/>

取説番号	MBA-149A	事業所コード	CPZ1	2011.7.1 発行
------	----------	--------	------	-------------

